

**平成29年度  
生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進行管理検証報告書**

**平成30年12月  
生駒市**



## 目次

1 生駒市まち・ひと・しごと・創生総合戦略の取組状況評価について	1
(1)生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
(2)総合戦略策定にあたってのこれまでの経緯と今後の進行管理について	2
(3)各取組項目の評価方法について	3
2 平成29年度取組状況検証結果 総括	4
(1)評価結果の総括	4
(2)地方創生交付金関係KPI一覧	6
3 平成29年度施策の進捗状況検証結果 個票	7
基本目標1に対する効果	7
1-1-1 保育園の新設・機能強化	8
保育所の整備	8
一時預かり保育等保育サービスの充実	9
私立保育所の保育環境改善事業	10
1-1-2 幼稚園の保育機能の充実	12
幼稚園での預かり保育の実施	12
幼稚園における幼保一体化の支援(幼稚園への保育機能の強化)	13
1-1-3 病児保育機能の強化	15
病児保育等、病院への育児機能の導入	15
1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進	17
子育て層向けの情報発信	17
赤ちゃんの駅普及啓発事業	19
1-2-2 子育て層の交流促進	21
子育てサークルの支援	21
パパのための子育てイベントの開催	21
1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化	23
地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	23
1-2-4 地域活動への参加機会の創出	25
ママのプロボノ活動促進事業	25
新規NPOの立ち上げ支援	26
NPOの広報活動の支援	26
1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	28
公共施設の耐震化	28
乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	28
自主防災会の活動支援・促進	30
自主防犯活動支援・促進	30
1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	32
再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入	32
1-3-3 住宅供給の推進	34
既存住宅の流通支援	34
既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進	35

1-4-1	子育て世帯への経済的支援	37
	医療費助成等	37
	母子保健の充実	38
	基本目標2に対する効果	40
2-1-1	ワーク・ライフ・バランスの推進	41
	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	41
	テレワークの推進	42
	女性の活躍推進	43
2-2-1	市内産業の活性化	45
	企業の誘致	45
	設備導入等支援事業	45
2-3-1	ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	47
	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	47
2-3-2	起業に対するきめ細かな支援の充実	49
	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	49
	起業支援スペース等の整備	50
	起業支援融資に係る利子補給	51
2-4-1	子育て支援に関する事業活動の創出	52
	地域型保育事業の整備	52
	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	53
2-4-2	介護・福祉分野における事業活動の創出	54
	介護関係資格取得費の支援	54
	地域密着型サービス事業所の整備	55
2-4-3	食に関する地域産業の創出	56
	新規就農の支援	56
	農産品の加工・特産品の開発支援	57
	地産地消の推進	57
	基本目標3に対する効果	59
3-1-1	イベントの開催	60
	イコマニア100の実施	60
3-1-2	文化芸術活動やスポーツレクリエーション活動への参加機会の創出	62
	文化芸術活動への参加機会の創出	62
	子どもを対象としたスポーツイベントの開催	63
	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	64
3-1-3	教育環境の充実	66
	学校図書館司書の配置の拡充	66
	高山スーパースクールゾーン構想	67
	夢を与える講演会・学校創造推進事業	68
3-1-4	協働による魅力創造	70
	生駒の魅力発信プロジェクト	70

3-2-1 まちの魅力発信	72
子育て・教育環境の良さを効果的に発信	72
子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	73
3-2-2 観光振興や広域交流の促進	75
観光・交流の促進	75

#### 附属資料

1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議要綱	78
2 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 参加者名簿	79
3 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価集約表	80

# 1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況評価について

## (1) 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国が定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び「生駒市人口ビジョン」を勘案し定めたもので、第5次総合計画を特出し・深掘りした計画となっている。

本市の女性は優れた知識や技能を持った方が多く居住していながらも就業率が低く、その高いポテンシャルを活かしきれていないこと等から、総合戦略では、子育て層、特に女性をターゲットとし、下図に示すように、3つの「基本目標」に示す将来像を展望して、「施策に対する基本的方向」（10項目）を定め、取組の内容として「具体的な施策」（24項目）を掲げている。

基本目標	施策に対する基本的方向	具体的な施策
1 子育てしやすいまち	1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる	1-1-1 保育園の新設・機能強化
		1-1-2 幼稚園の保育機能の充実
		1-1-3 病児保育機能の強化
	1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる	1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進
		1-2-2 子育て層の交流促進
		1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化
		1-2-4 地域活動への参加機会の創出
	1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上
		1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進
		1-3-3 住宅供給の推進
1-4 経済面での出産・子育ての不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	
2 母親が希望のしごとをできるまち	2-1 企業での多様な働き方を広げる	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進
		2-2-1 市内産業の活性化
	2-2 市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす	2-2-1 市内産業の活性化
		2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成
	2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる	2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実
		2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出
	2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる	2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出
2-4-3 食に関する地域産業の創出		
3 子育て層（特に女性）が転入したいまち		3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり
	3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の創出	
	3-1-3 教育環境の充実	
	3-1-4 協働による魅力創造	
	3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる	3-2-1 まちの魅力発信
		3-2-2 観光振興や広域交流の促進

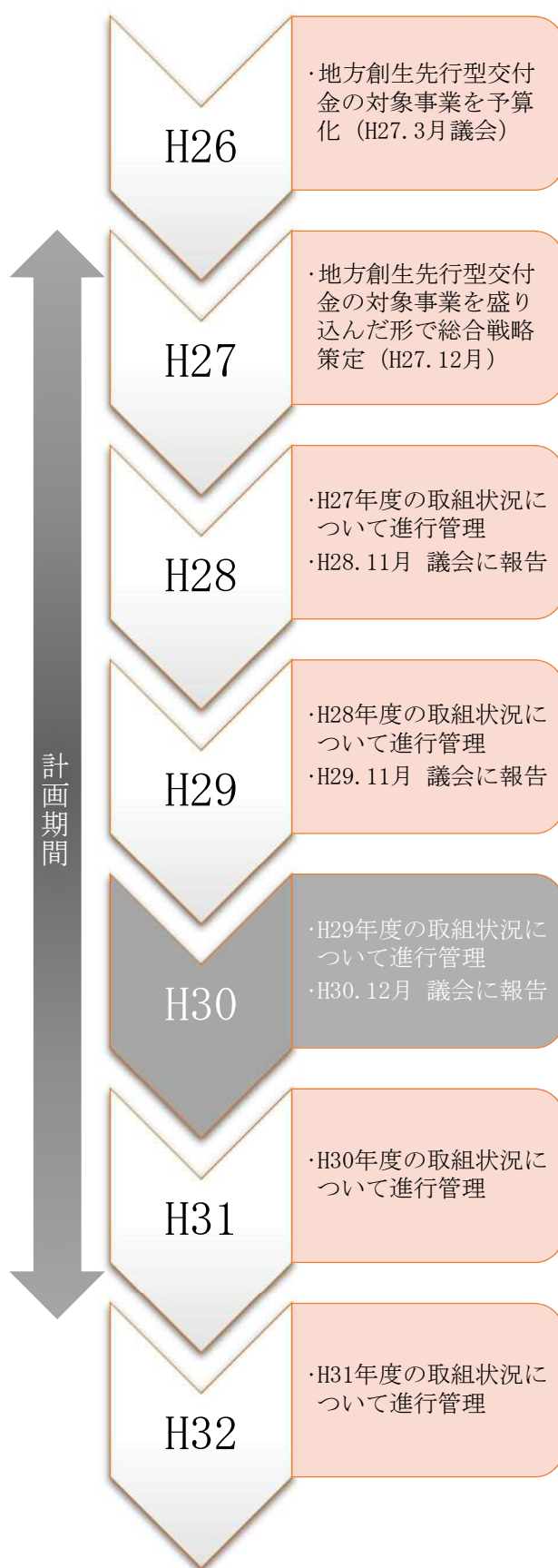
## (2) 総合戦略策定にあたってのこれまでの経緯と今後の進行管理について

総合戦略の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間である。

一方で、総合戦略が策定されたのは平成27年12月であり、総合戦略の中には、これまで継続して行ってきた事業もあれば、総合戦略に盛り込むことが決定してから予算化し、平成28年度から事業を開始するものまで様々存在する。さらに、一部の事業は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）（以下、「地方創生先行型交付金」という。）を活用するために、平成26年度中にも関わらず、その後策定する総合戦略に盛り込むことが予め見込まれる事業を予算化し、総合戦略に盛り込んでいる。

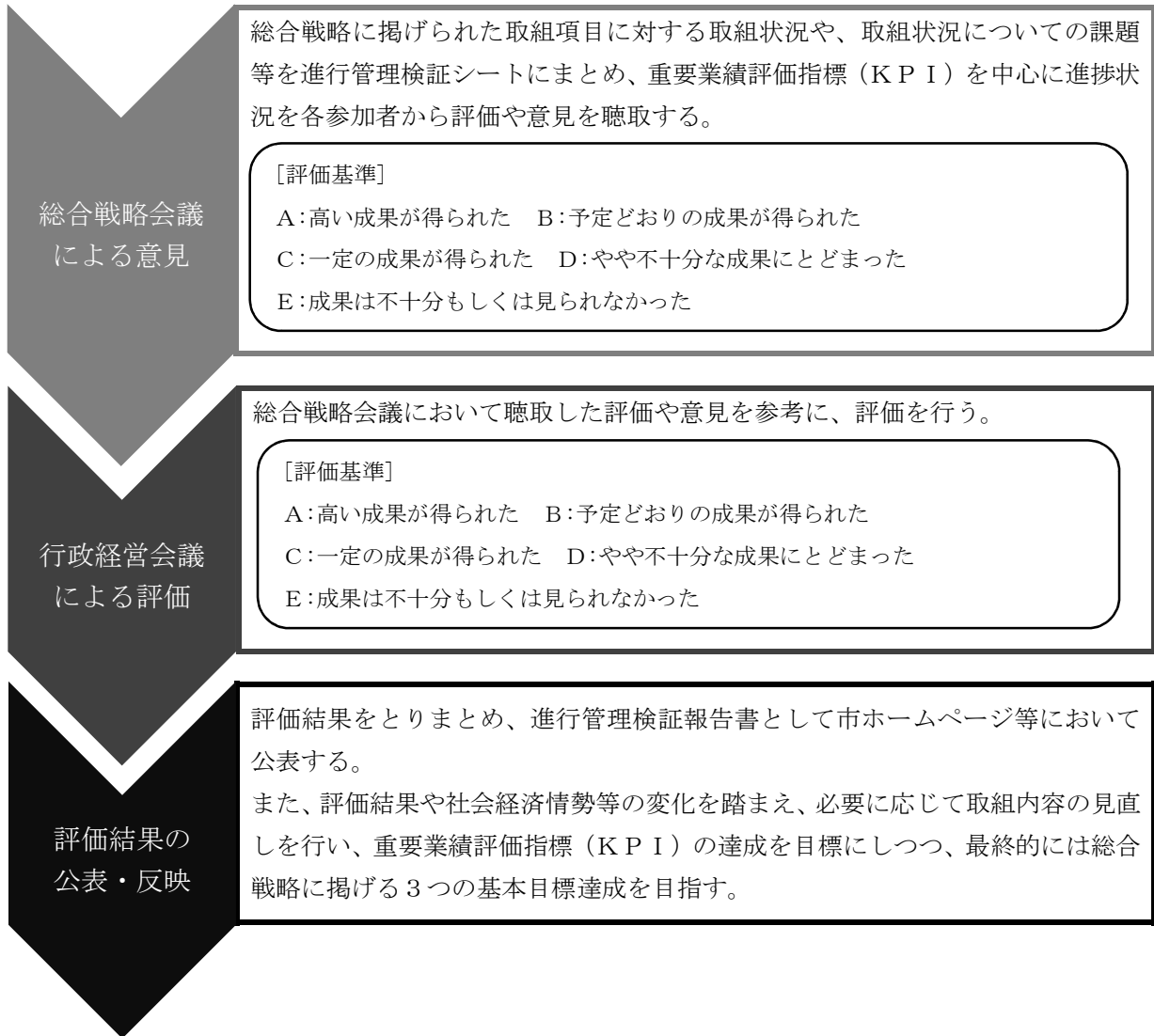
総合戦略の進行管理については、計画期間内において確実な成果を達成するため、行政の執行部門と地域の事業関係主体とが、協働によりPDCAサイクルを実践することが可能となるよう、各担当部課が進捗状況を「生駒市行政経営会議」（以下、「行政経営会議」という。）に報告し、「生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」（以下「総合戦略会議」という。）の意見を得ながら、行政経営会議において、計画の進捗状況を検証することになっている。

平成28年度以降、毎年、前年度の取組状況について、総合戦略会議において評価や意見を聴取し、行政経営会議において評価を決定する。また、報告書を議会に報告するとともに、市ホームページに公表する。



### (3) 各取組項目の評価方法について

進行管理を行うにあたって、平成30年6月1日に総合戦略会議（全体会）において、意見を聴取し、12月3日の行政経営会議において、市としての評価を行った。





## 2 平成29年度取組状況検証結果 総括

### (1) 評価結果の総括

各具体的施策をA～E評価した結果は、下記のとおりとなっている。

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	5	20.8
B:予定どおりの成果が得られた	9	37.5
C:一定の成果が得られた	10	41.7
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	24	100.0

約60%が「予定通りの成果が得られた」以上の評価となっており、昨年度(75%)と比べてやや低下した。一方で「高い成果を得られた」と評価されたものが20%を上回っており、昨年度(4.2%)と比べ大幅に向上した。昨年度に引き続き、全ての項目において、「一定の成果が得られた」以上の評価となっており、取組全般が順調に進捗しているといえる。

#### ①「基本目標1 子育てしやすいまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	2	18.2
B:予定どおりの成果が得られた	6	54.5
C:一定の成果が得られた	3	27.3
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	11	100.0

11項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。中でも「子育て層を応援する情報提供の推進」、「子育て層の交流促進」については、A評価となった。「赤ちゃんの駅」の積極的な整備、「はばたきみっき」の開設等が子育て層の満足度の向上に結びついている。

②「基本目標2 母親が希望のしごとをできるまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	1	14.3
B:予定どおりの成果が得られた	2	28.6
C:一定の成果が得られた	4	57.1
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	7	100.0

7項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。中でも「ビジネスにつながる人的ネットワークの形成」については、A評価となった。講座や講習会の開催が人的ネットワークの形成に結びついた。

③「基本目標3 子育て層が（特に女性）が転入したいまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	2	33.3
B:予定どおりの成果が得られた	1	16.7
C:一定の成果が得られた	3	50.0
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	6	100.0

6項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。中でも「イベントの開催」、「文化芸術活動やスポーツレクリエーション活動への参加機会の創出」については、A評価となった。イコマニアイベントの開催やコンサートイベントの充実がまちのイメージ向上に結びついた。一方で、数値目標である「子育て層の転入者数」は、昨年度よりも減少しており、取組の効果を分析し、より効果的な取組への転換が求められる。

(2) 地方創生交付金関係 K P I 一覧

先行型交付金 ※各個票に【先行型対象】と表示		K P I	目標値		現状値
			H 3 1	H 2 9	H 2 9
1-1-1	私立保育所の保育環境改善事業	改修後保育所入所児童数／改修前保育所入所児童数	105%	105%	114%
1-2-1	赤ちゃんの駅普及啓発事業	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数	180 人	180 人	727 人
1-3-1	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）	4 回	4 回	7 回
		乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数	5,000 部	3,000 部	5,000 部
		子育て層の定住意向「ずっと住みつづきたい」の割合	58.0%	54.0%	50.0%
2-2-1	設備導入等支援事業	機器設備導入企業における売上増〔累計〕 H26 年度比	2.0%	2.0% (H28)	11.0% (H28)
		機器導入件数〔累計〕	24 件	24 件	24 件
3-1-4	生駒の魅力発信プロジェクト	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合	61.5%	60.3%	54.5%
		生駒市への居住を人に薦めたい人の割合	53.3%	52.1%	58.7%
3-2-1	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	PR サイトユニークユーザー数	2,500 人	2,500 人	10,425 人
		子育て層の転入者数	1,238 人	1,218 人	935 人

加速化交付金 ※各個票に【加速化対象】と表示		K P I	目標値		現状値
			H 3 1	H 2 9	H 2 9
1-2-4	ママのプロボノ活動促進事業	ママのプロボノ活動に参加するプロボノワーカーの延べ人数	80 人	40 人	25 人
2-1-1	テレワークの推進	テレワーク導入件数	2 社	1 社	1 社
2-3-2	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	女性の創業支援対象者数	16 人	—	16 人
	起業支援スペース等の整備	女性の起業支援スペース延べ利用件数	3 件	—	63 件

推進交付金 ※各個票に【推進対象】と表示		K P I	目標値		現状値
			H 3 1	H 2 9	H 2 9
2-1-1	テレワークの推進	テレワーク導入件数	2 社	1 社	1 社
2-3-2	起業支援スペース等の整備	女性の起業支援スペース延べ利用件数	2 件	1 件	63 件
		本事業への参画による女性就労者延べ人数	22 人	12 人	2 人

3 平成29年度施策の進捗状況検証結果 個票

基本目標 1 子育てしやすいまち

数値目標	子育て層の住みやすさの満足度（市民満足度調査） （H26・H28 は本調査、H27・H29 は web 調査）	
現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	4.8 点
目標値	H31 年度	5.0 点
実績値	H29 年度	5.3 点
数値目標	子育て層の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合（市民満足度調査）（H26・H28 は本調査、H27・H29 は web 調査）	
現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	52.8%
目標値	H31 年度	58.0%
実績値	H29 年度	50.0%
基本目標への 実現への効果	<p>目指す将来像「多様な保育サービスの利用や、コミュニティの中での支えあい、さらには費用面での支援により、子育て層が希望の子どもの数を持って、ゆとりを持って生活（子育て）している。」に対し、特に寄与したことを列挙すると、</p> <p>【ハード面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒幼稚園を「幼稚園型認定こども園」の開園</li> <li>・北コミュニティセンターに子育て支援拠点「はばたきみつき」を開設</li> <li>・地域エネルギー会社「いこま市民パワー株式会社」を設立 等</li> </ul> <p>【ソフト面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かり保育サービスの充実</li> <li>・父親を対象とした子育てセミナー「父親向けトリプル P」を開催</li> <li>・マタニティコンシェルジュによる産婦に対する助言</li> <li>・一般不妊治療費助成の開始 等</li> </ul> <p>が挙げられ、これらが住みやすさの満足度の上昇に寄与していると考えられる。一方で、休日保育や病児保育の利用者が少ないことなど課題も存在するため、ニーズ調査による必要性の検討や原因の分析をし、より効果的な施策を実施することにより、定住意向の上昇に繋げる必要がある。</p>	

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-1 保育園の新設・機能強化

具体的な施策	施策名	保育所の整備																														
	施策内容	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。																														
	取組状況 (H29年度)	①増加する保育需要に対して即応性が期待できる小規模保育所の開園に向けた補助金の交付等準備を行った。 ②地域型保育事業の積極的な展開を進めるべく、企業に対して、「企業主導型保育事業」の推進に向けた働きかけを広く行った。																														
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 小規模保育所の開園（1園）に向けた準備がほぼ整ったことから、待機児童の解消に向けて前進したところだが、今後も新たな開園に当たっては、その用地の確保や3歳児の受入れのための連携施設の不足が危惧されるところである。  [H30年度の取組予定] ① 小規模保育所の開園（1園）と開園に向けた準備（2園程度） ② 小規模保育所から保育所分園に規模を拡大（1園） ③ 企業主導型保育所の開設に向けた企業への働きかけ（2社程度を想定）																														
主担当課		こども課																														
重要業績評価指標 KPI	指標名	保育所待機児童数																														
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	68人	<table border="1"> <caption>保育所待機児童数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>単純待機</th> <th>実質待機</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>68</td> <td>30</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>54</td> <td>37</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>58</td> <td>46</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>104</td> <td>65</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	単純待機	実質待機	目指す値	H26	68	30	10	H27	54	37	10	H28	58	46	10	H29	104	65	0	H30	0	0	0	H31	0	0	0
	年度	単純待機	実質待機		目指す値																											
	H26	68	30		10																											
H27	54	37	10																													
H28	58	46	10																													
H29	104	65	0																													
H30	0	0	0																													
H31	0	0	0																													
目標値	H31年度	0人																														
実績値	H29年度	104人																														

単純待機:待機児童総数

実質待機:単純待機から私的理由による待機者を除く児童数

具体的な施策	施策名	一時預かり保育等保育サービスの充実																							
	施策内容	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。																							
	取組状況 (H29年度)	公立保育所 4園、私立保育所等 21園のうち、 <b>【延長保育】</b> 公立 4園、私立 15園、地域型保育事業所 5園で実施 <b>【一時預かり保育】</b> 公立 2園、私立 8園で実施 <b>【休日保育】</b> 私立 1園で実施 <b>【病児保育】</b> 私立 1園で実施 <b>【病後児保育】</b> 私立 1園で実施 <b>【病後児保育（体調不良児対応型）】</b> 公立 4園、私立 7園で実施 <b>【地域子育て支援拠点事業】</b> 私立 5園で実施																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] ・一時預かり保育等を新たに開始した私立保育所があり、さらに保育サービスが充実した。 ・休日保育、病児保育の利用が芳しくなく、1日平均の利用者数は前年度の利用実績を下回っている。  [H30年度の取組予定] ・利用者数の増加がみられない休日保育、病児保育については、引き続き保護者への広報、周知を図る。																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	一時預かり保育の延べ利用児童数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	6,610人	<table border="1"> <caption>一時預かり保育の延べ利用児童数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6,610</td> <td>6,700</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6,749</td> <td>6,800</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6,900</td> <td>6,900</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11,401</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7,107</td> <td>7,107</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>13,943</td> <td>7,200</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	6,610	6,700	H27	6,749	6,800	H28	6,900	6,900	H29	11,401	7,000	H30	7,107	7,107	H31	13,943	7,200
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	6,610	6,700																						
H27	6,749	6,800																							
H28	6,900	6,900																							
H29	11,401	7,000																							
H30	7,107	7,107																							
H31	13,943	7,200																							
目標値	H31年度	7,200人																							
実績値	H29年度	13,943人																							

具体的な施策	施策名	私立保育所の保育環境改善事業【先行型対象】																							
	施策内容	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。																							
	取組状況 (H29年度)	全ての私立保育所に対して、民間保育園備品充実費補助金を適正に交付し、保育サービスの充実を図った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>園児数に応じた補助金を交付し、保育に必要な備品を購入することによって保育サービスを充実させることができた。</p> <p>[H30年度取組予定]</p> <p>市として、私立保育所に対して、民間保育園備品充実費補助金を引き続き適正に交付する。</p>																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	改修後保育所入所児童数 / 改修前保育所入所児童数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	100%	<table border="1"> <caption>現状値と目指す値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>101</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>108</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>114</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	100	100	H27	101	105	H28	108	105	H29	114	105	H30	-	105	H31	-	105
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	100	100																						
H27	101	105																							
H28	108	105																							
H29	114	105																							
H30	-	105																							
H31	-	105																							
目標値	H31年度	105%																							
実績値	H29年度	114%																							

補助指標	H29 満足度調査における保育施設・サービスに対する満足度※1 (うち、私立保育所に通わせている親の満足度※2)	
実績値	保育施設	保育サービス
	58.3点 (66.0点)	53.7点 (65.0点)
(参考)	H27 満足度調査時における保育施設・サービスに対する満足度※1	
	保育施設	保育サービス
	54.6点	49.5点

※1 市民満足度調査による保育施設、サービスに関する満足度を100点満点(満足100点、やや満足75点、普通50点、やや不満25点、不満0点)で評価したもの。※2 子どもを私立保育所に通わせている回答者の平均値

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	待機児童対策に苦戦しているが、一時預かり保育等の利用者数は増加しており評価できる。
	2	4	3				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業主導型保育所は企業側も必要性を認識している。協力して進められたい。</li> <li>・出産等で離職された保育士の復職を後押しすることが必要。</li> <li>・待機児童対策としては、施設整備のハード面、人材確保のソフト面の両面を検討されたい。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B：予定どおりの成果が得られた**



**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-2 幼稚園の保育機能の充実

具体的な施策	施策名	<b>幼稚園での預かり保育の実施</b>		
	施策内容	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。		
	取組状況 (H29 年度)	市立幼稚園 9 園全園において短時間（午後 2 時から午後 4 時まで）預かり保育を実施するとともに、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生駒幼稚園では、午前 8 時 15 分から午前 9 時まで 午後 2 時から午後 5 時まで</li> <li>・ 南幼稚園では、午前 7 時 30 分から午前 9 時まで 午後 2 時から午後 6 時 30 分までの長時間預かり保育を実施した。</li> </ul>		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 市立幼稚園全園で短時間預かり保育を、2 園で長時間預かり保育を実施し、保護者の多様なニーズに応えることに努めた。 その一方、実施に当たっては、職員の勤務体制の確保や保護者の送迎用駐車場の確保が難しい状況にある。 [H30 年度の取組予定] 職員の勤務体制の確保や保護者の送迎用駐車場の確保に向けた課題等について整理したうえで、長時間預かり保育の実施園の拡大に向けた可能性を検討する。		
主担当課		こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	長時間預かり保育実施園数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1 園	<p>現状値</p> <p>目指す値 3</p>
	目標値	H31 年度	3 園	
	実績値	H29 年度	2 園	
	H26 年度	1 園		

具体的な施策	施策名	幼稚園における幼保一体化の支援（幼稚園への保育機能の強化）																							
	施策内容	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。																							
	取組状況 (H29年度)	平成29年4月に、生駒幼稚園を「幼稚園型認定こども園」として開園させた。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>生駒幼稚園を幼稚園型認定こども園として整備することにより、多様化する保護者の保育ニーズに対応した機能を充実させることができたものと考えられる。</p> <p>なお、市としても、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に対して引き続き理解と協力を求め、幼保一体化の取組を鋭意進めていく必要がある。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>生駒幼稚園での「幼稚園型認定こども園」としての課題と成果を整理することによって、市全体として、さらなる機能の充実を図ることとする。</p>																							
主担当課		こども課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	幼稚園と小中学校との連携事業数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	103件	<table border="1"> <caption>連携事業数の推移と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>103</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>105</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>108</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>117</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>113</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>118</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	103	92	H27	105	98	H28	108	103	H29	117	108	H30	113	113	H31	118	118
	年度	現状値	目標値																						
	H26	103	92																						
H27	105	98																							
H28	108	103																							
H29	117	108																							
H30	113	113																							
H31	118	118																							
目標値	H31年度	118件																							
実績値	H29年度	117件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	幼稚園での預かり保育実施園に昨年度から進展がない ものの、幼稚園と小中学校の連携事業数は着実に増えて おり評価できる。
		6	3				

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた  
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間の預かり保育については、保育士の過重労働にならないよう働き方を慎重に検 討されたい。</li> <li>・市内全域で同レベルの保育サービスを受けられるよう整備を進められたい。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

**B : 予定どおりの成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-3 病児保育機能の強化

具体的な施策	施策名	病児保育等、病院への育児機能の導入		
	施策内容	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。		
	取組状況 (H29 年度)	<p>これまでから病院における病児保育サービスの導入について検討を行ってきたが、その拡充には至っておらず、現状の 1 機関における取組（阪奈中央こぐま園での病児保育）にとどまっている。</p> <p>なお、H29 年度中には、保育所における病後児保育サービスが拡充された。</p>		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 病児保育に係る意見聴取やニーズの把握が不十分であった。</p> <p>[H30 年度の取組予定] ・現在の病児保育所（こぐま園）における 1 日平均の利用者数は受入定員を下回っており、利用者の求めるニーズを把握すべく、検討を進める。 ・周知方法を再度確認し、より効果的な情報の提供に努める。</p>		
主担当課		こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	病児保育設置件数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1 件	
	目標値	H31 年度	2 件	
	実績値	H29 年度	1 件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	病児保育設置件数は進展が見られないものの、病後時 保育が拡充された点は評価できる。
		1	4	3	1		

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育のニーズについては、現在の利用状況から判断するのではなく、当事者の生の声から把握するよう努められたい。</li> <li>・市立病院において、先導的にサービスを実施することも検討されたい。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

<b>C : 一定の成果が得られた</b>
-----------------------

**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進

具体的な施策	施策名	<b>子育て層向けの情報発信</b>
	施策内容	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、IT を利用した多様な情報の発信に取り組みます。
	取組状況 (H29 年度)	<p><b>【子育て支援総合センター】</b> ひろば事業やペアレント講座について年間計画どおりすべて開催した。講座等の情報発信については従来の HP や広報紙と電子版親子手帳での発信に加え、ツイッターでの案内や開催の報告などを行った。スマホを利用したのスタンプラリーを開始し、ラリー内での事業 PR を図った。</p> <p><b>【健康課】</b> パパママ教室（3 回コース）を年間 6 回、パパ講座を 9 回、離乳食講習会を 12 回、おやこ広場（2 回コース）を 6 回開催し、妊娠・出産・育児に必要な情報の提供を行った。また、予防接種は、市公式ホームページに常時掲載して情報提供を行い、乳幼児健診については対象者に個別通知するなど、必要な取り組みを全て行った。</p> <p><b>【いこまの魅力創造課】</b> 市が公開しているオープンデータを活用した、子育て層に有用なアプリケーション（給食献立やアレルギー情報が見える「4919 for Ikoma」、カレンダー形式で市内イベント情報・給食献立等を管理できる「生駒市カレンダー」）開発を促進し、それぞれのサービスを開始した。</p> <p><b>【こども課】</b> ①保育所 4 月一斉入所時の応募状況や各月の入所児童数（定員の空き状況）について、「市オープンデータポータルサイト」上で公開した。 ②前年度から引き続き、保育所や幼稚園における園庭開放に伴う情報を公開した。</p>

	<p>取組状況についての課題等</p>	<p><b>【子育て支援総合センター】</b>  [良かった点・悪かった点]  IT化により講座等の申し込みが従来ハガキからだったものが、ほとんどメールでの申し込みに変わってきた。  [H30年度の取組予定]  H29年度同様に取組を行う予定</p> <p><b>【健康課】</b>  [良かった点・悪かった点]  パパママ教室を隔月開催にすることで、1回当たりの参加者数が増加し、近隣に居住する人たちでグループを作り、有意義な交流会を行うことができた。参加者からは、おおむね満足の評価が得られた。乳幼児健康診査については、個別通知を継続してきたが、平均受診率は横ばいとなった。  [H30年度の取組予定]  前年同様、パパママ教室、おやこ広場を年間6回（偶数月、隔月開催）、パパ講座は年間9回の開催とする。  （理由）  近年、妊娠届出者および出生数の減少により、各教室（パパママ教室・おやこ広場）の受講者数が減少傾向にあったため、効率化を図るために前年同様隔月開催とし、参加者同士の交流会等の充実を図るため。</p> <p><b>【いこまの魅力創造課】</b>  [良かった点・悪かった点]  オープンデータ活用と市民協働・官民連携を合わせて推進することで、市の費用負担を伴わない形で先進的な情報提供サービスを導入することができた。  [H30年度の取組予定]  引き続き、各種ニーズを精査しながら、積極的にオープンデータ施策を推進する。</p> <p><b>【こども課】</b>  [良かった点・悪かった点]  5月以降各月における保育所入所に伴う空き状況の公開に向けて、平成29年度も様々な観点から検討したが、空き状況は日々変動しており、公開することによって、利用希望者に対して逆に無用の混乱を招くおそれがあるとの理由から、市ホームページでの随時の公開には踏み切れず、一定の時期における情報の更新にとどまった。  [H30年度の取組予定]  保護者の子育て支援に効果的であると考えられる保育所や幼稚園における情報について、公開が可能である情報を精査するとともに、積極的な公開に向けて引き続き取り組む。</p>
--	---------------------	--

主担当課		子育て支援総合センター・健康課・いこまの魅力創造課・こども課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	市ホームページの子育て関連ページへのアクセス件数			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	24,000 件		
	目標値	H31 年度	26,400 件		
	実績値	H29 年度	36,637 件		

具体的な施策	施策名	<b>赤ちゃんの駅普及啓発事業【先行型対象】</b>			
	施策内容	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。			
	取組状況 (H29 年度)	公私立保育園幼稚園のモデルスペースに未配置だった備品を配置し、環境整備の向上を図った。 「赤ちゃんの駅」として登録した施設は市 HP などに掲載し、市民周知を図った。 駅前の大規模商業店舗を登録した。			
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 商業施設など民間施設の登録数が伸びなかったが、目標登録数は達成できた。 [H30 年度の取組予定] 目標登録数 60 箇所			
主担当課		子育て支援総合センター			
重要業績評価指標 KPI	指標名	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***		
	目標値	H31 年度	180 人		
	実績値	H29 年度	727 人		



○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標が目標を大きく上回っている。</li> <li>・各種教室やセミナー、オープンデータポータルサイトを 利用し的確に情報発信が行われている。</li> </ul>
	6	2	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両指標ともに、前年度より数値が悪化している。原因を分析し改善に努められたい。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

<b>A : 高い成果が得られた</b>
----------------------

**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-2 子育て層の交流促進

具体的な施策	施策名	<b>子育てサークルの支援</b>		
	施策内容	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。		
	取組状況 (H29 年度)	市内北地区の子育て支援拠点として、北コミュニティセンターISTA はばたきで「はばたきみっき」を開設し、遊びや仲間づくりのしやすい環境を整えた。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 利用者に寄り添う体制を整えたことで、相談件数が増加した。 [H30 年度の取組予定] 小平尾南児童館と共同で「おでかけみっき」を月 1 回開催予定		
主担当課		子育て支援総合センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域子育て支援拠点の利用者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	29,630 件	
	目標値	H31 年度	31,000 件	
	実績値	H29 年度	35,024 件	

具体的な施策	施策名	<b>パパのための子育てイベントの開催</b>
	施策内容	男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。
	取組状況 (H29 年度)	<p>パパセミナーを 2 期開催。(1 期: 4 クールに増) また、父親も参加し、家族で楽しめる「まるっと生駒 家族フェスタ」を開催。</p> <p>パパと子どものみで参加するパパひろばを毎月開催し、父親が子どもとでかけやすい環境を設定。</p> <p>平日夜に「父親向けトリプル P」を開催。</p>

	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 父親同士の交流ができたこと。また、みっきランドへの父親と子どもの利用が多く見られるようになった。 [H30年度の取組予定] パパセミナーの開催を年2期から3期に増設。																							
	主担当課	子育て支援総合センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	子育てイベントへの男性の参加者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>子育てイベントへの男性の参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>26</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>151</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	26	6	H28	17	12	H29	151	18	H30	12	24	H31	30	30
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	26	6																							
H28	17	12																							
H29	151	18																							
H30	12	24																							
H31	30	30																							
目標値	H31年度	30人																							
実績値	H29年度	151人																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はばたきみっきの開設等により、利用者数は目標値を大幅に上回っている。</li> <li>・男性の子育てイベント参加者数が大幅に増加している。</li> <li>・男性が自然に育児に関わっている家庭が増えてきているように感じる。</li> </ul>
	8		1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児サークルの活動場所がなくなっている。市民自らの活動を阻害しないよう留意し、育児サークルが市内全域で活動できるよう後押しされたい。</li> </ul>
----------------	---

○評価結果

**A : 高い成果が得られた**

**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化

具体的な施策	施策名	地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化
	施策内容	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。
	取組状況 (H29 年度)	<p>【子育て支援総合センター】</p> 市内幼稚園・保育園の園児、教師、保護者を対象に CAP（子どもへの暴力防止）こどもワークショップ、おとな（教職員、保護者対象）ワークショップを実施（4 回）した。 <p>【健康課】</p> マタニティコンシェルジュが、妊娠期から関わりのある産婦等に電話などで状況確認し、アドバイスを行った。 保健師または助産師が、未熟児訪問や新生児訪問（希望者）及び、こんにちは赤ちゃん訪問事業により対象児の約 99.1%を訪問し、育児の支援および家庭の状況確認を行うなど、必要な取り組みを概ね行った。
	取組状況に ついての課題等	<p>【子育て支援総合センター】</p> [良かった点・悪かった点] 「子どもの目線になることができ、とてもわかりやすかった。」、「分かりやすい言葉を使って、子どもに問いかけながら進めていたのが良かった。」との感想をいただいた。より多くの人に参加をすすめていく。 <p>[H30 年度の取組予定]</p> 昨年同様市内幼稚園・保育園の園児、教師、保護者を対象に CAP（子どもへの暴力防止）こどもワークショップ、おとなワークショップを実施（7 回）予定。 <p>【健康課】</p> [良かった点・悪かった点] 地区担当保健師とマタニティコンシェルジュが連携し、妊娠期からの継続的な支援が行えるようになり、妊娠期から子育て期の支援が充実した。H28 年度からはじめたコンシェルジュへの相談件数も増え、（H28：10 月～3 月 延べ 30 件、実 29 件 H29：延べ 156 件、実 115 件）、身近な相談先として周知されつつあるが、今後コンシェルジュを設置したことによる効果を評価していくための指標を作っていく必要がある。

		[H30 年度の取組予定] 出産後早期から適切な支援が行えるよう、H29 年度より開始した「ママとベビーのおっぱい相談会」、助産師による個別相談を引き続き周知していく。 若年妊婦や未婚など、見守りが必要な妊婦や、産前産後のサポートに不安がある家庭に対し、安心して子育てが行えるよう産後ケア事業をはじめとした様々な支援を周知・活用する。		
	主担当課	子育て支援総合センター・健康課		
重要業績評価指標 K P I	指標名	新生児・乳児訪問の実施率（件数）		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	96.7%	
	目標値	H31 年度	100%	
	実績値	H29 年度	99.1% (780 件/787 件)	
	指標名	CAP 講習会の開催 [累計]		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	10 件	
	実績値	H29 年度	10 件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・CAP講習会は着実に実施されており、評価できる。
	3	4	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児・乳児訪問の実施率は現状に満足せず100%を目指して取り組まれたい。</li> <li>・支援内容の多面化、更なる周知の拡大に期待する。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B : 予定どおりの成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-4 地域活動への参加機会の創出

具体的な施策	施策名	ママのプロボノ活動促進事業【加速化対象】		
	施策内容	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたウォーミングアップに取り組みます。		
	取組状況 (H29年度)	NPO…3団体、ママボノワーカー数…10人 6月…団体向け説明会、7月…団体決定、ママボノワーカー募集 9月…ママ向け説明会、10月…ママボノワーカー決定 11月…団体とママの顔合わせ、1月…最終提案		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>ママならではの視点でNPOの持つ課題を解決できたが、プロボノワーカー参加者数が目標に届きませんでした。女性のライフサイクルや生活環境を配慮し、毎年開催よりも複数年おきに開催することが望ましいのではないかと考えます。</p> <p>[H30年度取組予定]</p> <p>H31年度に向けて、制度のPR等を行う準備期間とします。</p>		
主担当課	市民活動推進センター			
重要業績評価指標 KPI	指標名	プロボノワーカーの延べ人数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	80人	
	実績値	H29年度	25人	

具体的な施策	施策名	<b>新規NPOの立ち上げ支援</b>	
	施策内容	子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。	
	取組状況 (H29年度)	地域での居場所を見つけ、地域で活動する人、団体を育成支援することを目的に開催した連続講座「ららゼミジモト塾」を10回開催し、参加者のべ181人。このほか、ボランティア相談業務、情報の提供や、コーディネート業務などを行い、活動内容の充実に向けて支援。	
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>ジモトに興味を持つ市民が世代を越えて参加され、団体の立上げには至らなかったが、個々の活動を充実させたり、参加者同士のネットワークができた。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>連続講座「ららゼミジモト塾」を開催し、地域で活動する人材、団体の育成、活動支援を行う。</p>	

主担当課	市民活動推進センター
------	------------

重要業績評価指標 KPI	指標名	市民活動推進センターららポート登録団体数	
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	69団体
	目標値	H31年度	95団体
	実績値	H29年度	93団体

年度	実績値	目指す値
H26	69	75
H27	71	80
H28	81	85
H29	93	90
H30	90	90
H31	95	95

具体的な施策	施策名	<b>NPOの広報活動の支援</b>
	施策内容	子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、ららポート登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。
	取組状況 (H29年度)	ららポート登録団体、マイサポ事業広報いこまち掲載件数…54件 Twitter…196tweet ららだより…1,000部×5回

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>広報活動の支援を行うことにより、事業の活発化につながった。前年度と比較しても広報いこまち掲載数が6件、tweet数が23件増と、団体の活動PRに対する意識が向上した。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>全登録団体を対象に広報・PRに関する講座を開催し、団体活動PRのための団体紹介冊子を大幅リニューアルする予定。</p>																							
	主担当課	市民活動推進センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	市民活動推進センターららポート登録団体数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	69団体	<table border="1"> <caption>登録団体数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>69</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>71</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>81</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>93</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	69	75	H27	71	80	H28	81	85	H29	93	90	H30	90	90	H31	95	95
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	69	75																						
H27	71	80																							
H28	81	85																							
H29	93	90																							
H30	90	90																							
H31	95	95																							
目標値	H31年度	95団体																							
実績値	H29年度	93団体																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO支援については、充実してきている。</li> <li>・プロボノワーカーの延べ人数は目標と乖離しており、周知方法等再検討する必要がある。</li> </ul>
	2	5	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ママボノについては、活動したい人だけでなく、人と人、人と情報を繋ぐ人材を見つけることも重要である。</li> </ul>
----------------	--

○評価結果

**B：予定どおりの成果が得られた**



基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上

具体的な施策	施策名	公共施設の耐震化		
	施策内容	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。		
	取組状況 (H29年度)	災害時に使用する公共施設の耐震化はH28年度で終了。 指定避難所 33 箇所のうち防災コンテナが整備されていない避難所に災害用トイレ袋、室内用テント（更衣室）、乳幼児用ベッドを整備。すべての避難所に給水袋を整備し、資機材の充実を図った。 昨年に引き続き福祉避難所となる7施設に災害用トイレ、防水シーツの備蓄を行った。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 防災コンテナの設置の有無で避難所の資機材の整備状況に差が生じているが、段階的に整備を進めつつある。 [H30年度取組予定] 防災コンテナの設置箇所についてH29に見直しを行い、避難者数や利用状況を考慮し、生駒小学校に防災倉庫の設置を行う。		
主担当課		防災安全課		
KPI 重要業績評価指標	指標名	避難施設の耐震化率		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	97.2%	
	目標値	H31年度	100%	
	実績値	H29年度	100%	

具体的な施策	施策名	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄【先行型対象】
	施策内容	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。

	取組状況 (H29 年度)	すべての指定避難所に乳幼児用ベッド、室内用テント（更衣室・授乳室）を配備することができた。 昨年に引き続き、子育て支援総合センターにおいて、乳幼児を持つ家庭向けの防災講座を開催した。																							
	取組状況に ついての課題等	[良かった点・悪かった点] 乳幼児用の資機材を全避難所に配備することができた。 [H30 年度の取組予定] H27 年度に作成したパンフレットの修正、増版を行い講座や防災訓練に活用していく。																							
	主担当課	防災安全課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	0	4	H27	3	4	H28	4	4	H29	7	4	H30	4	4	H31	4	4
	年度	現状値	目標値																						
	H26	0	4																						
	H27	3	4																						
	H28	4	4																						
	H29	7	4																						
	H30	4	4																						
	H31	4	4																						
	目標値	H31 年度	4 回																						
	実績値	H29 年度	7 回																						
	指標名	乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数																							
現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,500</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5,000</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,000</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	0	0	H27	1,500	1,000	H28	4,000	2,000	H29	5,000	3,000	H30	4,000	4,000	H31	5,000	5,000	
年度	現状値	目標値																							
H26	0	0																							
H27	1,500	1,000																							
H28	4,000	2,000																							
H29	5,000	3,000																							
H30	4,000	4,000																							
H31	5,000	5,000																							
目標値	H31 年度	5,000 部																							
実績値	H29 年度	5,000 部																							
指標名	子育て層の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合 (H26・H28 は本調査、H27・H29 は web 調査)																								
現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	52.8%	<table border="1"> <caption>子育て層の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>52.8</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>43.0</td> <td>52.1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.1</td> <td>54.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>50.0</td> <td>56.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>58.0</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>58.0</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	52.8	50.0	H27	43.0	52.1	H28	52.1	54.0	H29	50.0	56.0	H30	58.0	58.0	H31	58.0	58.0	
年度	現状値	目標値																							
H26	52.8	50.0																							
H27	43.0	52.1																							
H28	52.1	54.0																							
H29	50.0	56.0																							
H30	58.0	58.0																							
H31	58.0	58.0																							
目標値	H31 年度	58.0%																							
実績値	H29 年度	50.0%																							

具体的な施策	施策名	自主防災会の活動支援・促進	
	施策内容	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。	
	取組状況 (H29 年度)	小学校区単位で複数の団体が協力して行う防災訓練への協力を積極的に行い、自主防災会未結成の団体にも防災訓練への参加を促し、自主防災会の結成促進に努めた。	
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>H29 年度は自主防災会の新規結成には至らなかったが、結成に向け準備を具体化させている団体を支援している。</p> <p>[H30 年度の取組予定]</p> <p>自主防災会結成の支援を行い結成を促進し、防災訓練を継続して実施できるよう支援していく。</p>	

主担当課	防災安全課
------	-------

重要業績評価指標 KPI	指標名	自主防災組織の組織率	
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	94.5%
	目標値	H31 年度	100%
	実績値	H29 年度	97.3%

年度	現状値 (%)	目指す値 (%)
H26	94.5	91.7
H27	96.2	94.4
H28	97.3	97.2
H29	97.3	100
H30	100	100
H31	100	100

具体的な施策	施策名	自主防犯活動支援・促進
	施策内容	犯罪の起こりにくい明るいまちづくり実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。
	取組状況 (H29 年度)	<p>自治会でのさらなる自主防犯意識の高揚への一助として、自治会内での防犯カメラ設置に対して補助を行うとともに、防犯活動用品の貸出等により自主防犯活動を支援している。</p> <p>[防犯カメラの設置補助実施自治会]</p> <p>2 自治会</p> <p>[防犯活動用品貸出団体数]</p> <p>71 団体</p>

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>防犯カメラの設置を通じて自治会内の防犯意識の醸成につながっている。複数の自治体から設置に関する相談はあるが、設置後の運用面での懸念や住民の合意形成が課題になっている。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>防犯カメラ設置自治会への補助については、予算として、3自治会×上限100万円=300万円を計上。</p>																							
	主担当課	防災安全課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	刑法犯罪発生件数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	605件	<table border="1"> <caption>刑法犯罪発生件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>605</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>557</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>554</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>560</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	605	630	H27	557	620	H28	554	610	H29	560	600	H30		590	H31		580
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	605	630																						
H27	557	620																							
H28	554	610																							
H29	560	600																							
H30		590																							
H31		580																							
目標値	H31年	580件																							
実績値	H29年	560件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難施設の耐震化、乳幼児用ベッドの設置等ハード面の充実は評価できる。</li> <li>防災意識を高める訓練等充実されたい。</li> <li>この分野において、子育て層にどのようにアプローチしたか明記されたい。</li> <li>刑法犯罪発生件数減少に向けてのプロセスを明記されたい。</li> </ul>
	1	5	3				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺自治体に対する救援訓練も含め、有事に備えられたい。</li> <li>生駒市民は、災害に対して他人事に思っている人が多い。市民の防災意識を高めるよう取り組まれたい。</li> </ul>
----------------	--

○評価結果

**B：予定どおりの評価が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進

具体的な施策	施策名	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入		
	施策内容	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組むとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。		
	取組状況 (H29年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域エネルギー会社「いこま市民パワー株式会社」の設立</li> <li>○いこま市民パワー株式会社による公共施設への電力供給 (55 施設)</li> <li>○いこま市民パワー株式会社による民間施設への電力供給 (8 施設)</li> <li>○市民共同発電所事業による太陽光発電設備導入 (1ヶ所、85kW)</li> <li>○太陽光発電システム設置補助 (交付件数 102 件、合計 476.3kW)</li> <li>○家庭用燃料電池 (エネファーム) 設置補助 (交付件数 197 件)</li> <li>○家庭用蓄電システム設置補助 (交付件数 40 件)</li> </ul>		
	取組状況に ついての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者、市民団体、行政の共同出資による電力小売り会社を設立したことで、市内の再生可能エネルギー普及拡大を官民連携で推進する体制を整備することができた。</li> <li>・太陽光発電システム設置補助の交付件数は昨年から引き続き減少傾向にある</li> </ul> <p>[H30年度取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民共同発電所事業による太陽光発電設置に向けた支援を継続する</li> <li>・いこま市民パワー株式会社を核として、地域の再生エネルギー電源の拡大を図る</li> </ul>		
主担当課		環境モデル都市推進課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	太陽光発電システム設置基数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,700基	
	目標値	H31年度	4,960基	
	実績値	H29年度	3,200基	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・「いこま市民パワー株式会社」の設立により、再生 可能エネルギー普及拡大する体制を整備したことは 評価できる。
	1	1	3	4			

[評価基準] A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた  
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・固定買取価格の増減に影響されない水準になるよう、より一層環境意識の醸成に向けて取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

<b>C : 一定の成果が得られた</b>
-----------------------

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-3 住宅供給の推進

具体的な施策	施策名	既存住宅の流通支援		
	施策内容	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。		
	取組状況 (H29 年度)	既存住宅流通等促進奨励金交付件数 10 件 計 3,000,000 円		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>従来が保有している情報だけでは、中古住宅の詳しい流通状況は把握できなかったが、今年度は奨励金の申請者から、中古住宅を購入して、奨励金を利用するに至る経緯や世帯構成を、直に聞くことができた。</p> <p>しかし、代理人が申請に来た場合は、ヒアリングはできなかった。</p> <p>[H30 年度取組予定]</p> <p>昨年度のヒアリング内容をもとに、奨励金受給者に対するアンケートを実施し、同施策の効果を分析する。</p> <p>また、市と専門家団体が連携協定を締結し、市内の個々の空き家についての流通促進方策を検討する場（プラットホーム）を、構築のうえ、その運用を開始する。</p>		
主担当課		都市計画課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	既存住宅流通等促進奨励金交付件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	50 件	
	実績値	H29 年度	20 件	

具体的な施策	施策名	既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進
	施策内容	耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。
	取組状況 (H29 年度)	<p>【都市計画課】</p> <p>住宅相談：月 1 回実施 年 1 9 件          空き家相談：2 か月に 1 回実施 年 1 5 件          広報や市ホームページ、納税通知同封チラシ等により周知を行った。</p> <p>【建築課】</p> <p>市内住宅の耐震化の促進及び空き家の未然防止策として、既存住宅の解体補助金制度を H29 年度に創設した。また、補助金制度の周知については広報やホームページを利用し、さらに NPO 法人による耐震に関するフォーラムの開催、窓口において不動産業者等への情報提供をするなど、必要な取組みを実施した。</p>
	取組状況に ついての課題等	<p>【都市計画課】</p> <p>[良かった点・悪かった点]          住宅相談・空き家相談それぞれについて、相談後のヒアリング及び相談員からの報告によって、相談者の抱える問題解決につながっていることを確認している。</p> <p>[H30 年度の取組予定]          住宅相談・空き家相談ともに予定件数に達しないものの、ほぼ毎月相談予約や問合せは入るため、開催回数の変更は行わない方向。</p> <p>【建築課】</p> <p>[良かった点・悪かった点]          既存の耐震診断・耐震改修補助に加え、耐震性がない住宅の解体補助を新たに開始したことにより、既存住宅の耐震改修を行うか、解体して建替えするかを選択できるようになり、市民の関心が高まっている。</p> <p>[H30 年度の取組予定]          補助金制度の認知度向上のため、ホームページによる広報の掲載方法等の検討に取組み、また NPO 法人による耐震に関するフォーラムの開催、窓口において不動産業者等への情報提供を継続して行う。</p>
主担当課	都市計画課・建築課	



K P I 重要業績評価指標	指標名	既存住宅耐震診断補助事業利用件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	496 件	
	目標値	H31 年度	683 件	
	実績値	H29 年度	561 件	
	指標名	改修補助等により耐震化した住宅の件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	135 件	
	目標値	H31 年度	205 件	
	実績値	H29 年度	183 件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の実績状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
		2	7				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・空き家流通状況等ヒアリング内容を分析の上、次の施策への反映を検討されたい。
------------------------	--

○評価結果

**C : 一定の成果が得られた**

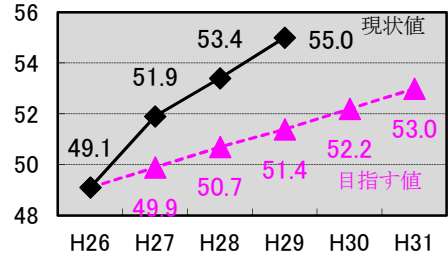
基本目標 1 子育てしやすいまち

1-4 経済面での出産・子育ての不安を軽減する

1-4-1 子育て世帯への経済的支援

具体的な施策	施策名	医療費助成等
	施策内容	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どもがいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。
	取組状況 (H29年度)	<p>【国保医療課】 H28年8月診療分から対象者を拡大。H29年度も引き続き、中学校卒業までを対象に通院医療費の助成を行った。</p> <p>【健康課】 こどもを望む夫婦の経済的負担を軽減するため、不育症治療費助成事業と一般不妊治療費助成事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不育症治療費助成事業（H28開始） 不育症治療に要した検査費と治療費（医療保険適用分及び適用外分）の本人負担額の2分の1で、一年度につき上限15万円を助成 支給件数⇒3件</li> <li>・一般不妊治療費助成事業（H29開始） 一般不妊治療に要した検査費と治療費（医療保険適用分及び適用外分）の夫婦の負担額の2分の1で、一年度につき上限7万円を助成 支給件数⇒115件</li> </ul>
	取組状況についての課題等	<p>【国保医療課】 [良かった点・悪かった点] H28年度と比べて広く周知できたことで受給者が増加したが、問い合わせや支払業務に大きなトラブルもなく遂行できた。 [H30年度の取組予定] H29年度と同様に実施。</p> <p>【健康課】 [良かった点・悪かった点] 不育症治療費助成・一般不妊治療費助成を実施する事により、こどもを望む夫婦の経済的負担を軽減することができた。 [H30年度の取組予定] 不育症治療費助成はH29年度と同様に実施。 一般不妊治療費助成は、予算の範囲内での給付になるため、条件を変更して実施予定。</p>

主担当課		国保医療課・健康課	
重要業績評価指標 KPI	指標名	子育て世帯の医療サービスに関する満足度（市民満足度調査）※ （H26・H28 は本調査、H27・H29 は web 調査）	
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	49.1 点
	目標値	H31 年度	53.0 点
	実績値	H29 年度	55.0 点



※市民満足度調査による一般の医療サービスに関する満足度を100点満点（満足100点、やや満足75点、普通50点、やや不満25点、不満0点）で評価したもの。就学前の子ども、小学校、中学校の子どもを持つ回答者の平均値。

具体的な施策	施策名	<b>母子保健の充実</b>
	施策内容	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。
	取組状況 (H29 年度)	全国の協力産婦人科医院と個別契約を締結し、妊婦健診にかかる費用の窓口負担分の軽減を行い、受診しやすい環境整備を行った。また、乳幼児健康診査（3か月・7か月・12か月・3歳6か月）を小児科医療機関の協力の下実施し、1歳6か月児健診については、多職種が携わる集団健診を実施し育児支援を行うなど、必要な取り組みを全て行った。
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 妊婦一般健康診査は、個別契約により、全国どの地域であっても受診券が使えるため、窓口での自己負担額の軽減を図れた。 乳幼児健診の1歳6か月児健康診査においては、集団健診方式を導入しているため、受診勧奨や未受診追跡等を徹底して行ってきたが、H29年度は前年度より受診率が低下し、96.2%となった。 [H30年度の取組予定] 妊婦健診の助成額、妊婦健康診査補助券（基本券と追加券）の追加券の金種を2種類（1,000円と2,000円）については変更なし。 また、妊娠中の支援に繋げるため、H29年度から補助券内に健診結果記入欄を設け、健診費用請求時に健診結果を把握できるよう変更したが、今後はその結果を活用して、妊娠期の支援につなげたい。
主担当課	健康課	

K P I  重 要 業 績 評 価 指 標	指標名	乳幼児健診受診率		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	98.1%	
	目標値	H31 年度	99.0%以上	
	実績値	H29 年度	96.2%	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・不育症治療費助成に加え一般不妊症治療費助成を開始したことは評価できる。
		7	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・乳幼児健診については、対象者全員をフォローできるよう、継続して取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

**B：予定どおりの成果が得られた**

## 基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

<b>数値目標</b>	女性の就業者数（「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」を含む）（国勢調査）	
<b>現状値</b> （総合戦略策定時）	H22年度	18,814人 （20,457人）
<b>目標値</b>	H31年度	19,300人 （20,985人）
<b>実績値</b>	H27年度	20,337人 （22,201人）
<b>数値目標</b>	女性の新規起業数（生駒市起業支援融資制度利用の女性起業家）	
<b>現状値</b> （総合戦略策定時）	H26年度	1件
<b>目標値</b>	H31年度	6件
<b>実績値</b>	H29年度	1件 <small>（H27以降申請6件中6件男性）</small>
<b>基本目標への 実現への効果</b>	<p>目指す将来像「市内企業でのワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、母親が子育てしながら多様な働き方を選択しているとともに、母親が希望のしごとを自ら起業し、家計を支える収入を得ながら子育てとの両立に繋げている。」に対し特に寄与したことを列挙すると、</p> <p><b>【ハード面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模保育所の開園に向けた準備</li> <li>・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の整備</li> <li>・設備導入支援補助 等</li> </ul> <p><b>【ソフト面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク&amp;インキュベーションセンターにおけるテレワーク勤務の受入れ</li> <li>・産官学連携事業としてサロネーゼカフェを実施し起業希望者を支援</li> <li>・テレワーク&amp;インキュベーションセンターにおいて各種セミナーを開催</li> <li>・農地所有者と新規就農者のマッチング（H29年度5組が新たに就農） 等</li> </ul> <p>が挙げられる。一方で、依然として、介護関係資格取得費の支援など利用者が低迷している等の課題が存在する。また、数々の起業家支援を行っているものの、数値目標として掲げている女性の新規起業数が伸び悩んでおり、女性の起業希望者のニーズの掘り起こしを行い、より効果的な支援を行うことが求められる。</p>	

**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-1 企業での多様な働き方を広げる**

**2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進**

<b>具体的な施策</b>	<b>施策名</b>	<b>ワーク・ライフ・バランスの普及啓発</b>
	<b>施策内容</b>	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。
	<b>取組状況 (H29 年度)</b>	<p>【男女共同参画プラザ】 災害とジェンダーをテーマとした講座の開催や女性のためのリフレッシュできる講座等を開催した。</p> <p>【商工観光課】 「働き方改革」をテーマにイベントを次の2回実施。 (1)7月24日：テレワーク・デイ（3市合同イベント） (2)11月1日：働き方改革企業交流会（先進企業等との交流会）</p>
	<b>取組状況に ついての課題等</b>	<p>【男女共同参画プラザ】 [良かった点・悪かった点] 国が推進している女性活躍推進や働き方改革に沿った事業を進めていく必要がある。 [H30 年度の取組予定] 父親の育児参加をテーマとした講座開催</p> <p>【商工観光課】 [良かった点・悪かった点] (1)テレワーク・デイでは県内3市町の首長（生駒・天理・三郷）がテレビ会議システムを使い、情報交換を行うことができた。 (2)企業交流会では先進企業とまだ働き方改革に取り組み始めの企業が情報交換をすることができ、各企業に対して、ワークライフバランスに資する働き方改革について効果的な啓発ができた。 (3)課題としては、テレワークを始めとした「働き方改革」の推進について既に実施している企業がある一方、労務管理の問題や役員クラスの理解が得にくい事業者があるなど、実施できない事業者についてはなかなか実現に結びつかないことがある。各企業において啓発を図るため、今年度作成したテレワーク冊子などを活用していきたい。 [H30 年度の取組予定] 「働き方改革」を中心としたイベントを実施予定</p>

主担当課		男女共同参画プラザ・商工観光課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	男性の平日の家事労働時間「全くしない」人の割合 (現状値はH25 男女共同参画・人権についての市民アンケート調査、H28 は市民満足度調査、H29 は web 市民満足度調査)			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	18.3%		
	目標値	H31 年度	14.5%		
	実績値	H29 年度	6.4%		

具体的な施策	施策名	<b>テレワークの推進【加速化対象、推進対象】</b>
	施策内容	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組めます。
	取組状況 (H29 年度)	◇11月1日にテレワークのPRイベントを実施し、企業の人事担当者による交流会を実施した。 ◇生駒市テレワーク&インキュベーションセンターにおいて1社が週2日のテレワーク勤務を導入された。
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] ◇テレワークや働き方改革をテーマに企業の人事担当者の交流会を実施。先進企業や、これから働き方改革を検討する企業との情報交換やテレワーク&インキュベーションセンター指定管理者とのつながりができた。 ◇指定管理者において試験利用を実施いただいたことは実際に企業がテレワーク勤務について体験でき、導入に結び付ききっかけになったと考える。  [H30 年度の取組予定] ひきつづき、イベントの実施や、テレワーク&インキュベーションセンター指定管理者による営業、PR活動を実施
主担当課	商工観光課	

K P I 重要業績評価指標	指標名	テレワーク導入件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	2 件	
	実績値	H29 年度	1 件	

具体的な施策	施策名	<b>女性の活躍推進</b>
	施策内容	男女がそれぞれ、個性や能力を発揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組めます。
	取組状況 (H29 年度)	<p>【男女共同参画プラザ】 講座の開催や女性相談を通して、女性のエンパワーメント向上につながる一定の取組を行った。</p> <p>【人事課】 職員労働組合と協力して、ワーク・ライフ・コミュニティ・バランス推進の労使宣言をし、労使連携による具体的な取組みやコミュニティ活動を推進した。また、ワーク・ライフ・コミュニティ・バランスを啓発するために、管理職に向け重要性を理解し実践につなげるための研修を行うとともに、「子ども参観日」等を引き続き行った。</p> <p>昨年度に開設した育児休業等している職員への情報提供や情報共有が可能となる情報交流サイトについて、対象職員への周知徹底を図った。</p>
	取組状況についての課題等	<p>【男女共同参画プラザ】 [良かった点・悪かった点] 講座開催の周知を徹底すること。より多くの参加者が見込まれるよう講座内容を工夫する必要がある。</p> <p>[H30 年度の取組予定] 前年度参加者の少なかった講座の内容を見直す。</p> <p>【人事課】 [良かった点・悪かった点] ワーク・ライフ・コミュニティ・バランス推進の労使宣言を行い、労使と連携して積極的な取組みを行った。</p> <p>[H30 年度の取組予定] 引き続き管理職を対象に、イクボス宣言の主旨に沿った実践のための研修を実施予定。また、職員へのワーク・ライフ・コミュニティ・バランスに対する意識付けも行いたい。</p>



主担当課		男女共同参画プラザ・人事課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	市役所における女性管理職員の割合																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	21.8%	<table border="1"> <caption>女性管理職員の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>21.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>27.7</td> <td>28.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	21.8		H27		22.4	H28		25.0	H29	27.7	28.0	H30		30.0	H31		30.0
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	21.8																							
H27		22.4																							
H28		25.0																							
H29	27.7	28.0																							
H30		30.0																							
H31		30.0																							
目標値	H31 年度	30.0%																							
実績値	H29 年度	27.7%																							

補助指標		女性の就業率※	
		生駒市	(全国)
現状値	H27 年 国勢調査	42.4%	48.3%
(参考)	H22 年 国勢調査	39.6%	47.1%

※15歳以上の女性の人口の中で、実際に働いている人の割合を算出（総数から「不詳」を除く）

(出典) 総務省「国勢調査」(2010年度、2015年度)

### ○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度の実行状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
		3	3	2			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの仕組みを市民にわかってもらえるようPRする必要がある。</li> <li>・生駒市でどのような暮らしができるのかを、さらにPRされたい。</li> <li>・民間にしかできないこともあるので、うまく連携して進められたい。</li> </ul>
------------------------	---

### ○評価結果

**B:予定どおりの成果が得られた**

**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-2 市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす**

**2-2-1 市内産業の活性化**

具体的な施策	施策名	<b>企業の誘致</b>																							
	施策内容	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。																							
	取組状況 (H29年度)	H29年度の新たな企業誘致は0件であった。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>H29年度は、高山サイエスタウン、学研生駒テクノエリア共に多くの問い合わせを受けたが、価格面での折り合いがつかず誘致には至らなかった。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで以上に県との協力体制を強める。</li> <li>・H29年度に実施した企業立地アンケートをもとに将来の種まきのための企業訪問を実施する。</li> </ul>																							
主担当課		商工観光課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	誘致企業 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	11社	<table border="1"> <caption>誘致企業 [累計] 実績値と目指す値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	11	11	H27	12	12	H28	16	14	H29	16	16	H30	18	18	H31	20	20
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	11	11																						
H27	12	12																							
H28	16	14																							
H29	16	16																							
H30	18	18																							
H31	20	20																							
目標値	H31年度	20社																							
実績値	H29年度	16社																							

具体的な施策	施策名	<b>設備導入等支援事業【先行型対象】</b>
	施策内容	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。
	取組状況 (H29年度)	機器購入等の経費（1,500万円を上限）の10%の補助（最大150万円を補助）を行い、合計4件の商工業者の事業に対して、合計260万円の補助金を交付し、必要な取り組みを全て行った。

	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] H29年度は、最低対象経費の200万円に到達せず利用できない企業が多くあったため、4件であった。しかし、目標である24件は達成した。 [H30年度の取組予定] なし。		
	主担当課	商工観光課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	機器設備導入企業における売上増 [累計] H26年度比		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	2.0%	
	実績値	H28年度	11.0%	
	指標名	機器導入件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
目標値	H31年度	24件		
実績値	H29年度	24件		

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・順調に推移しており評価できる。
	2	2	4	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致については、様々な活動を継続的に進められたい。</li> <li>・基本目標「母親が希望のしごとをできるまち」に繋がるよう意識して取り組まれたい。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる

2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成

具体的な施策	施策名	<b>産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施</b>																							
	施策内容	<p>起業意欲のある女性（子育て層）によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。</p> <p>また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。</p>																							
	取組状況 (H29年度)	<p>◇産学官連携事業の中で、サロネーゼカフェを実施。</p> <p>女性起業家によるカフェ形式の講座（全5回）で起業希望者への支援を行った。講座参加者を対象に交流会も開催し、市内の女性起業家のネットワークづくりに資した。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>少人数制で実施したことにより、より深い対話の場となり、起業希望者への有効な後押しとなった。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>産学官連携事業においては、起業希望者の女性に対する交流会などは実施しないが、創業支援事業計画に基づくテレワーク&amp;インキュベーションセンターを中心に女性起業家を中心とした交流の機会を創出していく。</p>																							
主担当課		商工観光課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	交流会の参加者数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>交流会の参加者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>211</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>245</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>255</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	211	8	H28	245	16	H29	255	24	H30	-	32	H31	-	40
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	211	8																							
H28	245	16																							
H29	255	24																							
H30	-	32																							
H31	-	40																							
目標値	H31年度	40人																							
実績値	H29年度	255人																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順調に推移しており評価できる。</li> <li>・講座や交流会の開催により、ネットワークの構築が進んでいる。</li> </ul>
	5	3	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー参加に留まらず、起業希望者同士が繋がっていけるよう支援されたい。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

<b>A:高い成果が得られた</b>
--------------------

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる

2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実

具体的な施策	施策名	起業者を支援する体制づくり及び情報発信【加速化対象】		
	施策内容	ベルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。 また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。		
	取組状況 (H29年度)	◇創業支援事業計画に基づく創業者支援セミナーを実施した。 ◇支援機関が行う様々なセミナーを常にホームページ、ツイッター等で発信した。 ◇多様な働き方を支援する生駒市テレワーク&インキュベーションセンターにおいて、様々な起業セミナー等を実施したほか、奈良県よろず支援拠点からの出張相談の開催などを実施。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] ワンストップ窓口の体制が整い、各創業支援機関の連携が充実した。 [H30年度取組予定] 各支援機関が実施しているセミナー等についての積極的な情報発信を行う。また、引き続きセミナーの開催とチャレンジ商品の販売を行う。		
主担当課	商工観光課			
KPI 重要業績評価指標	指標名	創業支援対象者数（うち、女性の対象者数）		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	30人	
	実績値	H29年度	33人 (16人)	
	指標名	起業支援セミナー件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	3件	
	目標値	H31年度	12件	
	実績値	H29年度	16件	

具体的な施策	施策名	起業支援スペース等の整備【加速化対象、推進対象】		
	施策内容	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。		
	取組状況 (H29年度)	起業支援を行う場として、生駒市テレワーク&インキュベーションセンターを開設、女性起業家や起業希望者の女性に対してセミナーや交流会なども開催し、女性起業家が活発に情報交換をする場となっている。また、同センターのオフィスルームは起業3年以内の市民に対して割引価格で利用できるよう整備した。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>セミナー、交流会の開催により同センターの知名度は向上し、様々な方に利用いただいた。一方、オフィスルームの女性起業家の利用は1日の短期間の利用にとどまっている。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>今後も様々なセミナー、交流会を開催することで、規模の大小を問わず女性起業家を支援していくことで、店舗運営につながるような起業家の育成を目指す。</p>		
主担当課		商工観光課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	起業支援スペース延べ利用件数（うち、女性の利用件数）		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	4件	
	実績値	H29年度	230件 (63件)	

補助指標	生駒市テレワーク&インキュベーションセンターに係る事業への参画による就労者延べ人数(うち、女性の人数)※
H29年	2人(2人)
H28年	0人(0人)

※テレワークスペースの利用者及び、起業支援スペースの利用者のうち開業届を提出した人の合計

補助指標	生駒市テレワーク&インキュベーションセンター利用件数		
	テレワーク	インキュベーション	コワーキング
H29年	134件	230件	187件
H28年	15件	16件	20件

具体的な施策	施策名	起業者支援融資に係る利子補給																							
	施策内容	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。																							
	取組状況 (H29年度)	起業の具体的な計画がある又は起業後6ヶ月以内の個人・法人を対象に市の融資制度に基づく融資を行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>課題としては、起業を希望する人の掘り起しが足りていないため、融資を必要とする人に情報が伝わっていない可能性がある点。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>信用保証協会や奈良県よろず支援拠点等の支援機関、取扱金融機関と情報交換を密に行い、制度の周知、利用の促進を行う。</p>																							
主担当課		商工観光課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	起業支援融資件数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2件	<table border="1"> <caption>起業支援融資件数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	2	2	H27	3	4	H28	4	6	H29	6	8	H30	10	10	H31	12	12
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	2	2																						
H27	3	4																							
H28	4	6																							
H29	6	8																							
H30	10	10																							
H31	12	12																							
目標値	H31年度	12件																							
実績値	H29年度	6件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業者支援の充実が図られており、成果が得られている。</li> <li>起業者支援の仕組みが体制面、制度面ともに整いつつある。</li> </ul>
	3	3	2	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は一層の利活用に向けて、施策を講じられたい。</li> <li>起業後の経営に関するフォローアップも検討されたい。</li> </ul>
----------------	---

○評価結果

**B：予定どおりの成果が得られた**



基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出

具体的な施策	施策名	<b>地域型保育事業の整備</b>																							
	施策内容	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。																							
	取組状況 (H29 年度)	<p>【1-1-1 再掲】</p> <p>①増加する保育需要に対して即応性が期待できる小規模保育所の開園に向けた補助金の交付等準備を行った。</p> <p>②地域型保育事業の積極的な展開を進めるべく、企業に対して、「企業主導型保育事業」の推進に向けた働きかけを広く行った。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>企業イメージの向上にもつながることから、企業主導型保育所の開設について前向きに捉えていただけた企業はあったものの、H29 年度中には開設まで至らなかった。</p> <p>市としても、企業主導型保育所の開設に伴い「地元枠」が任意に設けられた場合、市全体の待機児童数の減少につながることから、企業に対して引き続き強力に働きかけを行う。</p> <p>[H30 年度の取組予定]</p> <p>① 小規模保育所の開園 (1 園) と開園に向けた準備 (2 園程度)</p> <p>② 小規模保育所から保育所分園に規模を拡大 (1 園)</p> <p>③ 企業主導型保育所の開設に向けた企業への働きかけ (2 社程度を想定)</p>																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域型保育事業開設件数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>地域型保育事業開設件数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	3	2	H28	5	4	H29	5	5	H30	-	6	H31	8	8
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	3	2																							
H28	5	4																							
H29	5	5																							
H30	-	6																							
H31	8	8																							
目標値	H31 年度	8 件																							
実績値	H29 年度	5 件																							

具体的な施策	施策名	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上																							
	施策内容	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。																							
	取組状況 (H29年度)	<p>広報いこまちや南北コミュニティセンターでの出張登録会、また地域デビューガイダンスでの援助会員募集を行うとともにファミリーサポート事業の周知を行った。また、会員登録継続の確認案内時に援助会員と直接話をして、活発な活動を依頼した。</p> <p>援助活動の前には依頼会員・援助会員・アドバイザーによる現地事前打合せを必ず行い、事故が起こらないように指導を実施した。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>利用件数は前年度とほぼ同じ（7.6件/日）であった。救急救命講習を必須とし、安全面の向上に努めた。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>事故が起こらないよう安全・安心について会員に周知する。</p>																							
主担当課		子育て支援総合センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	ファミリーサポートの利用件数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,223件	<table border="1"> <caption>ファミリーサポートの利用件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2,223</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,642</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,652</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,767</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,700</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>2,700</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	2,223	2,600	H27	2,642	2,400	H28	2,652	2,500	H29	2,767	2,600	H30	2,700	2,700	H31	2,700	2,700
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	2,223	2,600																						
H27	2,642	2,400																							
H28	2,652	2,500																							
H29	2,767	2,600																							
H30	2,700	2,700																							
H31	2,700	2,700																							
目標値	H31年度	2,700件																							
実績値	H29年度	2,767件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域型保育事業については、開設に繋がられるよう継続して取り組まれない。</li> <li>・ファミリーサポート事業については、利用者が増加しており評価できる。</li> </ul>
		5	4				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・ファミリーサポート事業については、順調に推移しているが、より一層定着するよう利便性の向上に努められたい。
----------------	---

○評価結果

**B：予定どおりの成果が得られた**

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出

具体的な施策	施策名	介護関係資格取得費の支援		
	施策内容	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。		
	取組状況 (H29 年度)	介護未経験者・初任者（就労1年以内）の方に対して、広報いこまち・市ホームページ・市内の公共施設（子育て支援施設含）等で周知・募集し、介護職員初任者研修の受講に係る経費について一人当たり5万円を限度に助成した。H28年度と同条件で公募し、応募者は増加した。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>募集要項の設置場所を子育て期間中や定年退職後の方など幅広い年齢層が目にする公共施設に拡大することで、より多くの方の目に留まり応募者は増加した。しかし、資格取得後、就労する施設を探すに当たり、保育所が決定していないため就労を断念したり、勤務施設が助成対象でなかったりする場合があります。助成金交付は応募者の半数にとどまった。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>引き続き、研修機関や介護施設への個別紹介を進めるとともに、公共施設への募集案内配置や情報提供をする。また、助成対象者の条件緩和を検討しており、資格取得者が就労しやすくなるような情報提供を進めていく予定である。</p>		
主担当課	介護保険課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	資格取得支援者数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	100 人	
	実績値	H29 年度	13 人	

具体的な施策	施策名	地域密着型サービス事業所の整備																							
	施策内容	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。																							
	取組状況 (H29年度)	第6期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）整備事業者の公募を行った。 1事業者選定され、H30年3月に開設された。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 認知症高齢者が増加し、グループホームの需要が伸びている中で、計画通り年度中の整備ができた。 [H30年度の取組予定] H30年度～H32年度を計画期間とする第7期介護保険事業計画では、H31年度に3施設の整備を計画している。計画通り実行できるよう、公募や整備の準備を進めていく。																							
主担当課		介護保険課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域密着型サービス事業所数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	11箇所	<table border="1"> <caption>地域密着型サービス事業所数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H31年度</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26年度	11	11	H27年度	12	11	H28年度	12	11	H29年度	13	11	H30年度	16	16	H31年度	16	16
	年度	現状値	目指す値																						
	H26年度	11	11																						
H27年度	12	11																							
H28年度	12	11																							
H29年度	13	11																							
H30年度	16	16																							
H31年度	16	16																							
目標値	H31年度	16箇所																							
実績値	H29年度	13箇所																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成29年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得支援者数が目標から乖離している。</li> <li>地域密着型サービス事業所を計画通り1箇所開設したことは評価できる。</li> </ul>
		1	5	3			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得後、就労に結びつかないケースもあるため、就労に向けたきめ細かい支援を期待する。</li> </ul>
----------------	---

○評価結果

<b>C:一定の成果が得られた</b>
---------------------

**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる**

**2-4-3 食に関する地域産業の創出**

具体的な施策	施策名	<b>新規就農の支援</b>																							
	施策内容	農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。																							
	取組状況 (H29年度)	新規就農者と農地所有者との間のマッチングを積極的に行い、H29年度中には、3組の新規就農者ができ、H28年度中にマッチングが終わっていた2組(法人)と合わせて、5組の新規就農者が営農を開始した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>H29年度中に新規就農者になった3組のうち1組について、経営が成り立たないことを理由に、離農された。</p> <p>[H30年度取組予定]</p> <p>農地バンクの充実を行ない、農林課とも協力しながら、積極的にマッチングを行う。</p>																							
主担当課		農業委員会事務局																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	新規就農者数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	6人	<table border="1"> <caption>新規就農者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>23</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	6	4	H27	10	5	H28	18	6	H29	23	7	H30	-	8	H31	-	9
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	6	4																						
H27	10	5																							
H28	18	6																							
H29	23	7																							
H30	-	8																							
H31	-	9																							
目標値	H31年度	9人																							
実績値	H29年度	23人																							

具体的な施策	施策名	<b>農産品の加工・特産品の開発支援</b>		
	施策内容	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産品の加工、特産品の開発への支援を進めます。		
	取組状況 (H29年度)	農家と地元飲食店との交流機会の創出については、まずは現状把握のため、農家に対してアンケート調査を実施した。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 農家の現状や課題が把握できた。</p> <p>[H30年度の取組予定] H29年度に行った農家アンケート調査を基に、農業ビジョン推進懇話会にて意見をいただきながら検討を行う。</p>		
主担当課		農林課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	支援件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	3件	
	実績値	H29年度	0件	

具体的な施策	施策名	<b>地産地消の推進</b>		
	施策内容	黒大豆をはじめ学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。		
	取組状況 (H29年度)	学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大については、H29年度において、新規生産者の確保ができ学校給食として出荷できた。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 学校給食用食材の生産拡大を進めるためには、対象作物の拡大や補助金による支援の継続とともに、新規生産者（新規就農者含む。）の確保も課題となる。</p> <p>[H30年度の取組予定] 引き続き、農業者へのPRや新規生産者（新規就農者含む。）の確保に取り組む。</p>		

主担当課		農林課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	黒大豆の作付面積		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	222 a	
	目標値	H31 年度	250 a	
	実績値	H29 年度	245 a	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度を取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者が着実に増えており評価できる。</li> <li>・特産品開発支援は、アンケートを実施し、意見聴取に努めているが、あまり進捗が見られない。</li> </ul>
	1	3	3	2			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

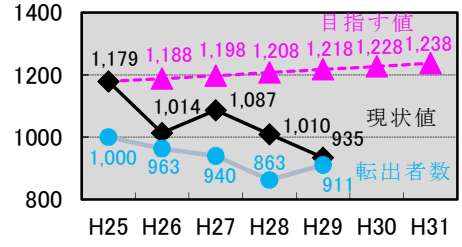
今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業で生計を立てている人のノウハウを共有するよう努められたい。</li> <li>・後継者不足が顕著であり、次世代の担い手の育成にも取り組まれたい。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

**C:一定の成果が得られた**

**基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち**

<b>数値目標</b>	子育て層の転入者数（住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）の1～12月の30歳代の転入者数）	
<b>現状値</b> （総合戦略策定時）	H25年度	1,179人
<b>目標値</b>	H31年度	1,238人
<b>実績値</b>	H29年度	935人



**基本目標への  
実現への効果**

目指す将来像「子育て層（特に女性）にとって魅力的なイベントが企画、開催されるなど、まちの魅力の発信力が強化され、本市の都市ブランド力が向上しているとともに、その魅力に惹かれて市外から子育て世帯（親との同居・近居を望む生駒市出身者を含む）が新たに市に流入してきている。また、市内においても、子育て世帯だけでなく20～24歳を中心とした若年層や高齢者などの他の世代の転出抑制にも繋がり、市民の定住促進が進んでいる。」に対し特に寄与したことを列挙すると、

**【ハード面】**

- ・たかやまこども園（幼保連携型認定こども園）の開園に向けた準備

**【ソフト面】**

- ・公共公益イベントをイコマニアイベントとして認定し広報支援
- ・市民みんなで創る音楽祭事業として音楽イベントの機会を提供
- ・市内の全小中学校に学校司書を週3日配置
- ・公式フェイスブック「まんてんいこま」で生駒の魅力を毎日配信
- ・子育て世代の女性をターゲットにしたライフスタイルブックを発行
- ・不動産会社と連携し、転入を検討している層に対して情報を発信 等

が挙げられる。全体的に本市の魅力向上・魅力発信のための取組を講じているが、転入者の増加として目に見えた結果が出るまで継続して取組を進める必要がある。



基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-1 イベントの開催

具体的な施策	施策名	イコマニア 100 の実施
	施策内容	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。
	取組状況 (H29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請のあったイベントを認定要綱に基づいて認定し、ロゴマークの使用を認めるとともに、団体の希望に応じイベント開催時にロゴマークの横断幕・のぼりの貸出し等や広報いこまち・ポスター・市 HP 等で認定イベントの情報発信を行うことで広報支援を実施した。</li> <li>・H29 年度から、イベント実施団体の新たな支援として、イコマニア・イベントに参加中の者が事故などで傷害を被ったときや、イベント主催者が法律的な賠償責任を負ったときに対応する保険（傷害保険、賠償責任保険）に加入した。</li> <li>・「イコマニア」制度の開始から 1 年半が経過することを踏まえ、イコマニア・イベントとして認定したイベントの申請団体の代表者に対してアンケート調査を行った。</li> <li>・広報等を活用し、イコマニアの認知度の向上に努め、子育て中の女性を対象とする新規イベントの認定につなげた。</li> </ul>
	取組状況に ついての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで関わりが無かった市民団体からも申請があり、新たな協働の推進につながった。</li> <li>・団体から、市の認定を受けたことで、市民の方に安心して参加していただけるようになったとの意見をいただいた。</li> <li>・事務手続きに時間がかかるので、簡素化を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>[H30 年度の取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して実施することで、認知度の向上に努める。</li> <li>・アンケート結果を踏まえ、制度に反映できるものがあれば検討していきたい。</li> </ul>
主担当課	市民活動推進課	

KPI 重要業績評価指標	指標名	イコマニア 100 開催回数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	100 回	
	実績値	H29 年度	217 回	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・イコマニア開催回数は目標を大きく上回っているだけでなく、体制整備も進んでおり、評価できる。
	7	2					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・イベントの申請手続きの簡素化について検討されたい。
------------------------	----------------------------

○評価結果

**A:高い成果が得られた**

**基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち**

**3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり**

**3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・ツクリエーション活動への参加機会の創出**

具体的な施策	施策名	<b>文化芸術活動への参加機会の創出</b>		
	施策内容	小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。		
	取組状況 (H29年度)	市民みんなで創る音楽祭事業として「次世代へ届けたい物語と音楽～音楽物語『ぞうのババール』とオペラ『蝶々夫人』より～」や、市民吹奏楽団のいこまブラス♪による「0才から楽しめるファミリーコンサート」などを開催し、乳幼児連れで参加できる音楽イベントの機会を提供し、多数のご家族に来場いただいた。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども連れで音楽を楽しんでいただくだけでなく、結婚や出産後においても、演奏者として、また、音楽イベントの企画・運営を通して「音楽のある生活」を実践していただいている。</li> <li>「0才から楽しめるファミリーコンサート」は、年々来場者の増加とともに、ホール内に入れなご家族も増加していることから、入場整理券の発行等を検討する必要がある。</li> </ul> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>市民みんなで創る音楽祭事業の実施や（具体的な事業内容は未定）市民吹奏楽団による「0才から楽しめるファミリーコンサート」の継続開催。</p>		
主担当課	生涯学習課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	0歳から楽しめるファミリーコンサートの参加者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	800人	
	実績値	H29年度	1,250人	

具体的な施策	施策名	子どもを対象としたスポーツイベントの開催																							
	施策内容	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。																							
	取組状況 (H29年度)	小学生スポーツふれあいデーや体育館無料開放事業等、子どもを対象としたスポーツを始めるきっかけとなるようなスポーツ事業を開催した。 また、子どもの体力向上施策として、陸上長距離走記録会や水泳競技大会など種目別のスポーツ競技会を開催した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>体育館無料開放事業については事前申込の必要がなく、また競技性の低い事業であるため、参加者も多く安定した事業運営を図る事ができた。</p> <p>また、陸上競技や水泳競技などは、学年に関係なく気軽に行うことができる競技種目であり、その発表の場としての陸上記録会や水泳大会の開催は有意義なものであると考えている。</p> <p>[H30年度の取組予定]</p> <p>体育館無料開放事業や陸上長距離走記録会、水泳競技大会等の子どもを対象としたスポーツ事業を開催する。</p> <p>また、障がい児のスポーツ活動を支援する事業等、障がい児を含む障がい者のスポーツ活動を行うためのきっかけとなるスポーツイベントを開催する。</p>																							
主担当課		スポーツ振興課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	子どもを対象としたスポーツイベントなどの参加者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,251人	<table border="1"> <caption>参加者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2,251</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,301</td> <td>1,850</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,255</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,355</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,300</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>2,350</td> <td>2,350</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	2,251	1,800	H27	2,301	1,850	H28	2,255	1,950	H29	2,355	2,000	H30	2,300	2,300	H31	2,350	2,350
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	2,251	1,800																						
H27	2,301	1,850																							
H28	2,255	1,950																							
H29	2,355	2,000																							
H30	2,300	2,300																							
H31	2,350	2,350																							
目標値	H31年度	2,350人																							
実績値	H29年度	2,355人																							

具体的な施策	施策名	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催																							
	施策内容	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。																							
	取組状況 (H29年度)	市が市内総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者等と連携し、トップアスリート等と触れ合えるスポーツイベントやスポーツスクールを開催し、子どもたちがスポーツに憧れや夢を抱くことができるようにするとともに、スポーツを身近に感じることができる機会を創出した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>普段は触れ合うことができないアスリートから直接指導を受けられることや、アスリートの技術を目の当たりにできたことは、子どものみならず、大人もスポーツに憧れや夢を抱くことができ、スポーツの楽しさを実感してもらうことができた。</p> <p>なお、東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップの開催を控え、市民のスポーツに対する関心が高まることが期待されるため、今後はその関心の高まりを活かし、スポーツを通じた地域の活性化を図りたい。</p> <p>※ 指標の「市内各種スポーツイベントの参加者数」については、市主催のイベントのみカウントしており、総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者の自主事業などを含めると、スポーツをする人は増加傾向にある。</p> <p>[H30年度取組予定]</p> <p>オリンピックメダリストによるレスリング教室。 トプレスラーによるトレーニング指導。 体育施設指定管理者とオリンピックメダリストや世界最高峰サッカークラブ等との連携による各種スポーツスクール。</p>																							
主担当課		スポーツ振興課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	市内各種スポーツイベントの参加者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	20,661人	<table border="1"> <caption>参加者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>20,661</td> <td>18,400</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>19,462</td> <td>18,800</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>19,200</td> <td>18,549</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>17,557</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>21,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	20,661	18,400	H27	19,462	18,800	H28	19,200	18,549	H29	17,557	-	H30	-	20,000	H31	-	21,000
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	20,661	18,400																						
H27	19,462	18,800																							
H28	19,200	18,549																							
H29	17,557	-																							
H30	-	20,000																							
H31	-	21,000																							
目標値	H31年度	21,000人																							
実績値	H29年度	17,557人																							

補助指標	指標名	総合型地域スポーツクラブの会員数 (いこ増ッスルクラブ、リトルパイン、プロストリート関西)		
	実績値	H29 年度	679 人	
		H28 年度	592 人	
		H27 年度	616 人	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・「市民みんなで創る音楽祭」や「0才から楽しめるファミリーコンサート」など市民に浸透し、参加者が増えており、評価できる。
	5	3	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・今後も、様々な人に文化やスポーツに触れてもらえるよう、継続して取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

**A:高い成果が得られた**

**基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち**

**3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり**

**3-1-3 教育環境の充実**

具体的な施策	施策名	<b>学校図書館司書の配置の拡充</b>																							
	施策内容	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。																							
	取組状況 (H29 年度)	全小中学校に学校司書を週3日配置し、学校図書館の活性化と児童生徒の読書活動の推進に取り組んだ。また、ビブリオバトル大会への参加も活発化し、全国大会も生駒市で開催された。必要な取組を概ね行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>図書の貸し出し冊数が大幅に増加し、本選びのアドバイスや絵本の読み聞かせが児童生徒の読書意欲向上に結び付いた。小学校の読書意識が高いことに対して、中学校の読書意識は比較的低い。</p> <p>[H30 年度の取組予定]</p> <p>全小中学校に学校司書を週3日配置したことにより、児童生徒の読書意識の向上を図る。</p>																							
主担当課		教育指導課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	1日30分以上読書をしている児童生徒の割合																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	33.0%	<table border="1"> <caption>読書率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値 (%)</th> <th>目指す値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>33.0</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>33.1</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>30.3</td> <td>35.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>33.1</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>36.7</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>37.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)	H26	33.0	34.0	H27	33.1	34.7	H28	30.3	35.3	H29	33.1	36.0	H30	-	36.7	H31	-	37.0
	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)																						
	H26	33.0	34.0																						
H27	33.1	34.7																							
H28	30.3	35.3																							
H29	33.1	36.0																							
H30	-	36.7																							
H31	-	37.0																							
目標値	H31 年度	37.0%																							
実績値	H29 年度	33.1%																							

具体的な施策	施策名	高山スーパースクールゾーン構想
	施策内容	市内初の施設一体型小中一貫校（生駒北小中一貫校）を新設し、9年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。
	取組状況 (H29 年度)	<p>【教育総務課】 生駒北小学校跡地に高山こども園及び学校給食センターを建設するため、H29 年度は生駒北小学校校舎等の解体工事を実施した。</p> <p>【教育指導課】 いくつかの教科で小学校の教員が中学校で、また中学校の教員が小学校で教える乗り入れ授業を実施し、体験学習などで特色ある授業を行った。また、先端大での中学生対象の特別授業や先端大の教員が中学校へ出向く出前授業の実施など必要な取組を概ね行った。</p> <p>【こども課】 高山幼稚園と北倭保育園の統合に伴う幼保連携型認定こども園（たかやまこども園）の H30 年 4 月の開園に向けて、補助金の交付をはじめとした準備を引き続き進めた。</p>
	取組状況に ついての課題等	<p>【教育総務課】 [良かった点・悪かった点] 特になし。 [H30 年度の取組予定] 特になし。</p> <p>【教育指導課】 [良かった点・悪かった点] 9年間の系統的なカリキュラムによる学習、小中教員協働による教育効果。地域と連携した特色ある学校教育。 教員の負担増。 [H30 年度の取組予定] H29 年度と同様に実施。</p> <p>【こども課】 [良かった点・悪かった点] 幼保連携型認定こども園として整備することで、保護者からの多様なニーズに応えることができた。 [H30 年度の取組予定] こども園の開園後も他の私立園と同様に補助金の支払いをはじめとして園の運営を円滑に進めるべく、引き続き後方支援を行う。</p>



主担当課		教育総務課・教育指導課・こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	校区内公立小学校から公立中学校への進学率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	82.0%	<table border="1"> <caption>進学率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>82.0</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>87.2</td> <td>83.6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>89.2</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>86.6</td> <td>86.8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>88.4</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	82.0	82.0	H27	87.2	83.6	H28	89.2	85.2	H29	86.6	86.8	H30		88.4	H31		90.0
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	82.0	82.0																						
H27	87.2	83.6																							
H28	89.2	85.2																							
H29	86.6	86.8																							
H30		88.4																							
H31		90.0																							
目標値	H31 年度	90.0%以上																							
実績値	H29 年度	86.6%																							

具体的な施策	施策名	<b>夢を与える講演会・学校創造推進事業</b>																							
	施策内容	各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。																							
	取組状況 (H29 年度)	あこがれ“いこまびと”講演支援事業として、元青年海外協力隊、ピアニストの講演会を実施。学校創造推進事業として、各校で特色のある体験学習等を実施し、地域の方々との交流の機会を増やすなど、必要な取組を概ね行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>身近にいる方の海外での豊かな経験や、障がい乗り越えての音楽活動についての講演を聞いて、生徒に向上心や自己有用感が芽生えた。</p> <p>地域の方や保護者の支援を受けて特色のある教育活動を、各校園で実施できた。</p> <p>[H30 年度の取組予定]</p> <p>あこがれ“いこまびと”講演支援事業を2校で実施。</p> <p>学校創造推進事業を各校で実施。</p>																							
主担当課		教育指導課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	学校創造推進事業の実施回数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1,718 回	<table border="1"> <caption>学校創造推進事業の実施回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,718</td> <td>1,603</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,815</td> <td>1,640</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,743</td> <td>1,677</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,729</td> <td>1,714</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>1,751</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>1,788</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	1,718	1,603	H27	1,815	1,640	H28	1,743	1,677	H29	1,729	1,714	H30		1,751	H31		1,788
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	1,718	1,603																						
H27	1,815	1,640																							
H28	1,743	1,677																							
H29	1,729	1,714																							
H30		1,751																							
H31		1,788																							
目標値	H31 年度	1,788 回																							
実績値	H29 年度	1,729 回																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・学校図書館司書の配置により、読書意識の向上に繋がっており、評価できる。
	1	2	6				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立中学校への進学率が下がっている要因を分析し、対策を講じられたい。</li> <li>・教育環境の充実に向けて、子どもにとって魅力的な施策の展開を期待する。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

<b>C:一定の成果が得られた</b>
---------------------

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-4 協働による魅力創造

具体的な施策	施策名	生駒の魅力発信プロジェクト【先行型対象】
	施策内容	市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」と言うロコミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。
	取組状況 (H29年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フェイスブックチーム(新規9名、継続2名)が活動。市公式フェイスブック「まんてん いこま」で生駒の魅力を伝える情報を毎日配信した。</li> <li>○キッズいこまち探検隊を実施。20名の小学生が参加し、全7回の講座を通じて、地域活動をしている団体との交流やイベント出店の企画運営を体験した。</li> <li>○子育て世代の女性をターゲットにしたライフスタイルブック「まんてん いこま」を発行。巻頭特集以外はいこまち宣伝部が企画・取材。発行記念イベントとして、地域交流促進事業「スタイリングパーティ」を開催した。</li> </ul>
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宣伝部員が取材活動を通じて、地域の魅力を再発見することでまちへの愛情や誇りが格段に向上した。フェイスブックのページいいね！数は3,895(平成30年3月31日時点)と1年で700以上増加し、着実に生駒の魅力を感じる情報が拡散されている。</li> <li>○キッズいこまち探検隊の保護者アンケート結果では、子どもの地域活動や活動している人への関心が高まったと感じた方が、約8割という結果だった。</li> <li>○ライフスタイルブックは、配布店舗の在庫がすぐになくなるなど好評。スタイリングパーティでは参加者の9割が「生駒のイメージがよくなった」「今後も参加者同士連絡をとりたい」と回答した。</li> </ul> <p>[H30年度取組予定]</p> <p>フェイスブックチームは継続。新たに「いこまち親子写真部」を発足させ、写真を通じて地域や人に触れるきっかけをつくり、市民のシビックプライドの醸成事業に取り組む予定。</p>
主担当課	いこまの魅力創造課	

K P I 重要業績評価指標	指標名	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合 (H26・H28 は本調査、H27・H29 は web 調査)			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	58.5%		
	目標値	H31 年度	61.5%		
	実績値	H29 年度	54.5%		
	指標名	生駒市への居住を人に薦めたい人の割合 (H26・H28 は本調査、H27・H29 は web 調査)			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	50.3%		
	目標値	H31 年度	53.3%		
	実績値	H29 年度	58.7%		

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・公式フェイスブックスやスタイリングパーティなど好評で市の魅力向上に繋がっている。
	1	4	2	2			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・郵送調査とWEB調査に回答の傾向に差がある。今後も継続して魅力向上・発信に取り 組まれたい。
------------------------	--

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる

3-2-1 まちの魅力発信

具体的な施策	施策名	子育て・教育環境の良さを効果的に発信【先行型対象】																							
	施策内容	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力を、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるPRサイトの構築などで広く伝える。																							
	取組状況 (H29年度)	<p>○PRサイトの運営のほかに、本市のイメージを高め、ファン作りを進めるため「IKOMA SUN FESTA」を実施。約40の事業者・市民活動団体・子育て世代の女性が出店し、子育て世代を中心に約12,400人が来場した。また、子育て世代に共感を得るイベントなどを動画にしてPRした。</p> <p>○暮らしやすさを市外に訴求するため、なんばパークスシネマで1分間のシネアドを3ヶ月間放映した。（上映回数5,341回、総顧客動員数221,274人）</p> <p>○不動産会社2者と連携し、会社ホームページや新聞折り込みチラシ等で、市の魅力をPRした。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>○行政施策を行政だけでPRするのではなく、まちの魅力を市民と共に発信する手法が、共感を得て、SNS等を通じたポジティブな口コミにつながっていると考えている。</p> <p>○多くの転入者の窓口となる不動産会社と連携することで、転入を検討している層に対して、効果的に生駒市の情報を発信できた。</p> <p>[H30年度取組予定]</p> <p>既存PRサイトの課題を解決し、転入を検討する方だけでなく市内在住者にも効果的に生駒の魅力が伝わる情報を発信するためサイトのリニューアルを実施予定。</p>																							
主担当課		いこまの魅力創造課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	PRサイトユニークユーザー数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>PRサイトユニークユーザー数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>5,650</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>12,462</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>10,425</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>-</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>H31年度</td> <td>-</td> <td>2,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26年度	0	-	H27年度	5,650	-	H28年度	12,462	-	H29年度	10,425	-	H30年度	-	2,500	H31年度	-	2,500
	年度	現状値	目標値																						
	H26年度	0	-																						
H27年度	5,650	-																							
H28年度	12,462	-																							
H29年度	10,425	-																							
H30年度	-	2,500																							
H31年度	-	2,500																							
目標値	H31年度	2,500人																							
実績値	H29年度	10,425人																							

	指標名	子育て層の転入者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H25 年度	1,179 人	
	目標値	H31 年度	1,238 人	
	実績値	H29 年度	935 人	

具体的な施策	施策名	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成		
	施策内容	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。		
	取組状況 (H29 年度)	各事業についての個々の周知チラシ作成とともに、各課と連携した子育て関連のパンフレットを作成し市民周知を行った。 子育て支援総合センターのパンフレットを作成し、センター事業についても周知できる体制を整えた。 ホームページの内容充実とともにホームページへの導入窓口として電子版親子手帳を利用し、情報発信にも取り組んだ。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 配布は施設配架だけでなく、家庭訪問時に渡すなどきめ細やかな周知に努めた。また、レイアウトを変更し見やすくした。 [H30 年度の取組予定] 印刷部数を増やし、配布場所を増やす。		
	主担当課	子育て支援総合センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	パンフレット配布部数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	1,000 部	
	実績値	H29 年度	1,300 部	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・様々な取組が実施されているが、子育て層の転入者増加に結びついていない。
	2	2	5				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も多様な媒体を通じて幅広いPR活動を期待する。</li> <li>・子育て関係のパンフレット配布の結果、どのような成果につながったのかを意識して取り組まれない。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

**C:一定の成果が得られた**

**基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち**

**3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる**

**3-2-2 観光振興や広域交流の促進**

具体的な施策	施策名	<b>観光・交流の促進</b>		
	施策内容	観光資源の整備や魅力のPR等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。		
	取組状況 (H29年度)	◇市内各所で開催されるイベントにおいてPRを実施。 ◇観光協会が実施するフォトコンテストの作品の観光写真展を市内のみならず他府県においても実施した。 ◇生駒市観光ボランティアガイド養成講座を実施し、ガイド数の増加を支援、企画ガイドの充実を図った。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 観光ボランティアガイドの会については養成講座の結果17名の新規加入があった。 [H30年度取組予定] 近畿日本鉄道、商工会議所などと連携し、生駒市の観光振興について、商工観光ビジョンに基づき取り組む		
主担当課		商工観光課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	観光地の来訪者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	163万人	
	目標値	H31年度	168万人	
	実績値	H29年度	158万人	



○総合戦略会議（全体会）からの平成 29 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・観光ボランティアガイドの養成など、相応の取組が 実施され、一定の効果が認められる。
			5	3	1		

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットを明確にした上で、さらに細かく分析し、効果的な取組を検討されたい。</li> <li>・基本目標「子育て層(特に女性)が転入したいまち」に繋がるよう意識して取り組まれた い。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

<b>C:一定の成果が得られた</b>
---------------------

# 附 属 資 料

## 1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔平成27年(2015)年度―平成31(2019)年度〕(以下「総合戦略」という。)第1章の推進体制として掲げる生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(以下「戦略会議」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(戦略会議の開催)

第2条 戦略会議は、総合戦略の進捗状況の検証を客観的に行う必要から、外部有識者等の意見を聴くために開催するものとする。

(参加者)

第3条 市長は、総合戦略を策定するに当たり開催した生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議開催要綱(平成27年5月27日施行)による生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の参加者のうちから戦略会議への参加を求めるものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、前項に規定する者以外の者に戦略会議への参加を求めることができる。

3 前2項に定めるもののほか、市長は、戦略会議の座長として学識経験のある者の参加を求めるものとする。

4 市長は、原則として、同一の者に継続して戦略会議への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 座長は、戦略会議を進行するものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、関係者に戦略会議への出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

3 市長は、必要があると認めるときは、戦略会議を部会に分けて開催することができる。

(開催期間)

第5条 戦略会議の開催期間は、総合戦略の進捗状況の検証が終了する時までとする。

(庶務)

第6条 戦略会議の庶務は、総合戦略を総括する課において処理する。

(施行の細目)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月9日から施行する。

2 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 参加者名簿

(全体会)

選出区分	氏名	所属母体・役職等
アドバイザー	ヒサ タカヒロ 久 隆浩	近畿大学 総合社会学部 教授
産業界	オオハラ サトシ 大原 暁	生駒商工会議所 専務理事
教育機関	レンゲ カズミ 蓮花 一己	帝塚山大学 学長
地域金融機関	タケモト カズヤス 竹本 和靖	(株)南都銀行 生駒支店 支店長
政府系金融機関	シノダ ナオキ 篠田 直喜	(株)日本政策金融公庫 奈良支店 支店長
労働団体	ナイトウ トシヒコ 内藤 利彦	連合奈良 西和地域協議会 議長
メディア	テツウ アツシ 鐵 東 敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング 代表取締役
その他市長が必要と認める者	イシカワ チアキ 石川 千明	いこま育児ネット 元代表
	マエハラ カネイチ 前原 金 一	生駒市 市政顧問

### 3 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価集約表

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁
1 子育てしやすいまち	1・1 子育て層の時間的なゆとりをつくる	1-1-1 保育園の新設・機能強化	111① 保育所の整備	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	B	教育振興部	こども課	8
			111② 一時預かり保育等保育サービスの充実	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。		教育振興部	こども課	9
			111③ 私立保育所の保育環境改善事業	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。		教育振興部	こども課	10
		1-1-2 幼稚園の保育機能の充実	112① 幼稚園での預かり保育の実施	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。	B	教育振興部	こども課	12
			112② 幼稚園における幼保一体化の支援（幼稚園への保育機能の強化）	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。		教育振興部	こども課	13
		1-1-3 病児保育機能の強化	113① 病児保育等、病院への育児機能の導入	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。	C	教育振興部	こども課	15
		1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進	121① 子育て層向けの情報発信	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、ITを利用した多様な情報の発信に取り組みます。	A	教育振興部 福祉健康部 地域活力創生部	子育て支援総合センター 健康課 いまの魅力創造課 こども課	17
			121② 赤ちゃんの駅普及啓発事業	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。		教育振興部	子育て支援総合センター	19
			1-2-2 子育て層の交流促進	122① 子育てサークルの支援	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。	A	教育振興部	子育て支援総合センター
	122② パパのための子育てイベントの開催			男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。	教育振興部		子育て支援総合センター	21
	1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化		123① 地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。	B	教育振興部 福祉健康部	子育て支援総合センター 健康課	23
	1-2-4 地域活動への参加機会の創出		124① ママのプロボノ活動促進事業	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたワーキングアップに取り組みます。		地域活力創生部	市民活動推進センター	25
		124② 新規NPOの立ち上げ支援	子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。	B	地域活力創生部	市民活動推進センター	26	
		124③ NPOの広報活動の支援	子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、ららぽーと登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。		地域活力創生部	市民活動推進センター	26	

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁	
1 子育てしやすいまち	1, 3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	131①	公共施設の耐震化	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。	B	総務部	防災安全課	28
			131②	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。		総務部	防災安全課	28
			131③	自主防災会の活動支援・促進	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。		総務部	防災安全課	30
			131④	自主防犯活動支援・促進	犯罪の起こりにくい明るいまちづくり実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。		総務部	防災安全課	30
	1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	132①	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組みとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。	C	地域活力創生部	環境モデル都市推進課	32	
			1-3-3 住宅供給の推進	133①	既存住宅の流通支援	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。	C	都市整備部	都市計画課
	133②	既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進		耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。	都市整備部	都市計画課 建築課		35	
	1, 4 子育ての不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	141①	医療費助成等	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どもがいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。	B	福祉健康部	国保医療課 健康課	37
			141②	母子保健の充実	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。		福祉健康部	健康課	38
	2 母親が希望のしごとをできるまち	2, 1 企業での多様な働き方を広げる	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進	211①	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。	B	市民部 地域活力創生部	男女共同参画プラザ 商工観光課
211②				テレワークの推進	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組みます。	地域活力創生部		商工観光課	42
211③				女性の活躍推進	男女がそれぞれ、個性や能力を発揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組みます。	市民部 市長公室		男女共同参画プラザ 人事課	43
2, 2 市内産業の活性化		2-2-1 市内産業の活性化	221①	企業の誘致	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。	B	地域活力創生部	商工観光課	45
			221②	設備導入等支援事業	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。		地域活力創生部	商工観光課	45

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁	
2 母親が希望のしごとをできるまち	2・3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる	2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	231①	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	起業意欲のある女性（子育て層）によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。	A	地域活力創生部	商工観光課	47
			232①	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	ベルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。	B	地域活力創生部	商工観光課	49
		2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実	232②	起業支援スペース等の整備	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。		地域活力創生部	商工観光課	50
			232③	起業支援融資に係る利子補給	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。		地域活力創生部	商工観光課	51
	2・4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる	2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出	241①	地域型保育事業の整備	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	B	教育振興部	こども課	52
			241②	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。		教育振興部	子育て支援総合センター	53
		2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出	242①	介護関係資格取得費の支援	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。	C	福祉健康部	介護保険課	54
			242②	地域密着型サービス事業所の整備	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。		福祉健康部	介護保険課	55
		2-4-3 食に関する地域産業の創出	243①	新規就農の支援	農地の輪転、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。	C	地域活力創生部	農業委員会事務局	56
			243②	農産物の加工・特産品の開発支援	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産物の加工、特産品の開発への支援を進めます。		地域活力創生部	農林課	57
			243③	地産地消の推進	黒大豆をはじめ学校給食用食糧の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。		地域活力創生部	農林課	57

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁			
3 子育て層（特に女性）が転入したいまち	3・1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり	3-1-1 イベントの開催	311①	イコマニア100の実施	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。	A	地域活力創生部	市民活動推進課	60		
			312①	文化芸術活動への参加機会の創出	小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。	A	生涯学習部	生涯学習課	62		
			312②	子どもを対象としたスポーツイベントの開催	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。				生涯学習部	スポーツ振興課	63
			312③	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。				生涯学習部	スポーツ振興課	64
	3・1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり	3-1-3 教育環境の充実	313①	学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。	C	教育振興部	教育指導課	66		
			313②	高山スーパースクールゾーン構想	市内初の施設一体型小中一貫校（生駒北小中一貫校）を新設し、9年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。				教育振興部	教育総務課 教育指導課 こども課	67
			313③	夢を与える講演会・学校創造推進事業	各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。				教育振興部	教育指導課	68
	3・2 生駒を向上させようとする都市ブランド力	3-2-1 まちの魅力発信	314①	生駒の魅力発信プロジェクト	市民P Rチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいこまち」と言うロコミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。	B	地域活力創生部	いこまち魅力創造課	70		
			321①	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力や、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるP Rサイトの構築などで広く伝える。	C	地域活力創生部	いこまち魅力創造課	72		
	321②	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。	教育振興部	子育て支援総合センター				73		
	3・2 生駒を向上させようとする都市ブランド力	3-2-2 観光振興や広域交流の促進	322①	観光・交流の促進	観光資源の整備や魅力のP R等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。	C	地域活力創生部	商工観光課	75		